

金沢市植物調査報告書

(丘陵および市街地)

金沢みどりの調査会 編

2002

金 沢 市

目次

要約	1
1 調査の目的	2
2 調査計画と体制、経過	
2 - 1 調査計画	3
2 - 2 調査体制	4
2 - 3 経過	4
3 対象地域	
3 - 1 位置と範囲	5
3 - 2 地形および地質	8
3 - 3 気候	10
3 - 4 植生	12
3 - 5 土地利用	14
4 調査方法	
4 - 1 調査方法の概要	16
4 - 2 メッシュ・システム	16
4 - 3 原票の作成	17
4 - 4 標本および採集ラベルの作成	17
4 - 5 標本・採集ラベル、および原票の集約	17
4 - 6 標本の同定と原票の整理・点検・補正	17
4 - 7 情報のデジタル化	18
4 - 8 標本および情報の保存	18
5 結果	18
5 - 1 金沢市植物調査による植物相	18
5 - 2 金沢市における国および県の絶滅危惧植物の分布	21
5 - 3 金沢市において保全上、重要な植物	22
6 評価	23
7 結論と保全施策の策定・実施に関する留意点	
7 - 1 結論	23
7 - 2 保全施策の策定・実施に関する留意点	23
8 今後の課題	25
9 文献	26
10 名簿	29
11 謝辞	31
付表	
金沢市植物目録（丘陵および市街地）	32
金沢市植物目録（丘陵および市街地）の統計表	52
金沢市に分布する絶滅危惧植物（国、石川県）一覧表	53
金沢市において保全上、重要な植物リスト	54

要 約

金沢市は1998年4月から2001年3月までの3年間を調査期間として、金沢みどりの調査会に金沢市植物調査（丘陵と市街地）を委託した。調査対象地域は1960年代以前の旧市街地と最近開発の急激に進んでいる丘陵地域で、平野と海岸、山地はこの調査対象には含まれていない。また、調査対象地域の市所管の都市緑地・公園は含まれているが、県・国の管理する都市緑地・公園・土地は除外されている。

金沢みどりの調査会は、約110名の一般市民（地域調査部会）と標本・データの取扱いの訓練や経験を有し、地域の植物相に通じた研究者（専門部会：大学院生を含む）14名により組織された民間の任意団体で、両者の協力により、基本メッシュ（一辺約1km）を精度とするシダ植物・種子植物のインベントリー（財産目録的）調査を実施した。現地の地域調査において作成された調査原票（以下、単に原票という）は、その根拠となる植物標本・標本ラベルとともに標本管理施設に集約された。集約された標本はさらに、専門部会において整理・同定がおこなわれて、原票が完成した。完成した原票の電子化は金沢計算センターによっておこなわれた。証拠の植物標本および原票は金沢みどりの調査会が保有し、そのうち標本は現在のところ、石川県自然史資料整備室標本収蔵庫において、良好な状態で保管されている。

調査・採集された標本・原票の数は約20,000点で、野生植物および栽培植物である。この報告書はこのうち、現に栽培された状態の栽培植物を除外し、野生植物および半野生化された栽培植物など（帰化植物、栽培植物の逸出など）を対象としたものである。他の調査によるデータは、今回の調査では一切引用あるいは援用しなかった。

調査の結果、原票やラベルの記載に瑕疵があり補正を要するものや、標本が不完全で同定の困難なもの、栽培植物を除外した結果、調査対象地域において現在約6,920件の正確なデータ（レコード）が得られている。この中から6,804件のデータを調査対象地域における信頼性の条件を満たしたデータとして解析した結果、種類数（変種以上、ただし、例外がある）は814種類、うち、国と県がレッド・データブックに記載した種類は31種類であった。解析の目的に使用した6,804件の電子化されたデータはそのハードコピーとともに金沢市に提出された。

「生物の多様性に関する条約」の定めるところにより、政府が策定した「生物多様性国家戦略」上、金沢市の区域内において実施されるべき施策は多岐にわたるが、そのうち調査区域内において、主に都市地域の生物多様性とそれに密接な関連を有する二次的自然の保全の観点から、前記のレッドデータブック記載種以外に、保全上特に必要と考えられる115種類の野生の植物種を「重

要植物種」として選定した。このなかには、都市における景観の保全ならびに自然環境創出の視点も当然含んでいる。また、今後、講ずる必要のある対策も併せて記述した。

金沢市においては、従来、植物についての全体的なインベントリー調査は実施されていなかった。今後、今回の植物調査事業が系統的に進められ、「丘陵・市街地」について、「平野・海岸」、「山地」の調査が順次実施され、また、国・県の所管する公園・都市緑地の調査成果などや、栽培植物についての成果も反映されることが望まれる。これらは今回の調査対象地域の「丘陵・市街地」に接続する領域であり、ここに分布する植物種の拡散・移出入など今後の動態の解析・予測に不可欠のデータを提供するものでもある。

1 調査の目的

本調査の目的は、調査対象地域（丘陵・市街地）のシダ植物・種子植物のインベントリー調査を実施し、その植物相を明らかにするとともに、環境保全上、重要な植物種を抽出することである。

インベントリー調査は、国勢調査と同様にきわめて基本的な調査であるが、この基礎なしには、絶滅危惧植物調査のような、さらに進んだ調査をおこなうことは原則として不可能である。

石川県におけるインベントリー調査は、シダ植物・種子植物の範囲では完了しており、また、木本植物については5倍メッシュ（一辺約5 km）の精度での分布調査が石川県地域植物研究会によって完了し、現在、草本植物についての同様の精度での分布調査が進行中である。これらの調査は、5倍メッシュの精度で実施されているので、石川県全体を対象とした場合は十分であるが、一つのメッシュに複数の市町村の区域を含むなど、市町村段階のインベントリー調査に援用することには無理がある。

金沢市においては、従来、医王山地域や卯辰山地域、河成段丘（河岸段丘）崖、兼六園、金沢大学城内キャンパス、角間キャンパスなどについてはインベントリー調査が行われたことがあるが、全域的なものはない。もっとも、今までにも個人的にそのような目的での努力をおこない、成果が公表されているものもあるが、その実質においては限られた地域か、分類群に限定されている（文献参照）。

科学的な調査計画による金沢市の体系的なインベントリー調査は、今回が初めてである。また、そのデータが現地調査のデータと標本にもとづいているだけでなく、データベースの構築を展望してすべて電子化されているのもこれが初めてである。

2 調査計画と体制、経過

2 - 1 調査計画

この調査を実施するにつき、金沢市（環境保全課）と金沢みどりの調査会の関係者は1996年頃より、断続的に協議・検討を重ねてきたが、1997年度末には、調査計画の大要について結論に達した。委託契約は概ねこの計画の方向にそったもので、その主な内容は下記の通りである。

調査計画は、金沢市の全域を丘陵・市街地、平野・海岸、山地の三つに区分し、さしあたり、丘陵・市街地の部分について1998年度～2000年度の3年間を調査期間として実施する。調査対象地域にあっても、兼六園、金沢城址、県庁など、国または石川県の所管する庭園・公園・施設の敷地であって調査が手続き上困難な土地については、調査からは除外する。インベントリー調査の調査精度は基本メッシュ（一辺約1km）とし、すべて本調査の際に採集された標本を根拠とするデータのみを採用することにした。標本はデータの信頼性の確保および将来の再検討にそなえて、インベントリー調査の原則にかんがみて、良好な状態で永久保存されるものとした。なお、既存の標本は、それが公的に保存されているものでも、本調査の要件にかなう精度でのデータを備えていないので一切採用しないことにした。

現地調査（採集）は地域調査部会に所属する一般市民が、住所または勤務先、通学先など身近な地域についておこなうものとし、それによることのできない地域については合同調査（合同採集）を実施することにした。地域調査部会で採集・作成された個々の標本（採集ラベルを添付）には原票が添付され、専門部会の整理・同定を経た上で、電子化され、解析される。

一般市民の参加により、高い精度によるインベントリー調査が可能となるだけでなく、併せて、身近な自然環境の保全と環境教育の目的をも達することができる。調査の正確さは、同定や標本整理など重要な段階を研究者が参加・分担することにより保障される。

この調査計画にもとづき、1)植物調査の手引き（マニュアル） 地域調査用、2)標本整理の手引き（マニュアル） 専門部会用、3)メッシュ地形図 - 金沢の植物調査事業用 -、などが作成され、統一された方法・仕様により、作業を進めることにした。また、月1回の例会と金沢みどりの調査会ニュースレタ - 「金沢のみどり」(月刊)の発行により、連絡事項を逐次掲載して、統一的に作業が進行するように計画された。

2 - 2 調査体制

調査体制は、金沢みどりの調査会に地域調査部会と専門部会を設けてこれを実施した。地域部会に登録された会員（市民）の数は約110名、専門部会に登録された会員数は14名である。なお、標本と原票の同定・整理・点検は、専門部会のなかから分類群ごとに担当者をきめて、分担実施することにした。分担は下記の通りである。

シダ植物・裸子植物	米山競一
離弁花類	高木政喜
離弁花類	小野ふみゑ
離弁花類	白井伸和
合弁花類	本多郁夫
単子葉植物	古池 博
単子葉類	濱野一郎
単子葉類	白井伸和

なお、各分類群中の、の区別は作業上の区分であるが、概ね分類上の区分に根拠をおいている。

この報告書の執筆は古池 博が、付表は本多郁夫が作成した。

2 - 3 経過

調査は概ね、調査計画の通りに進行した。本格的に体制が整備されて、実質的に調査が開始されたのは、1998年7月頃からである。

標本・原票の集約システムは、金沢みどりの調査会事務所のほか、市役所およびその出張所などの窓口などを受入先として、最終的に標本管理施設に集中するように組織された。標本管理施設は専門部会の作業と標本・原票の集約・保管に不可欠の施設であることから、金沢市がこれを提供することになった。当初の施設の所在地は交通に便利な JR 金沢駅前（本町）にあったが、第2年度からは、移転して郊外（山間）の旧駒帰小学校校舎（熊走町）を利用することとなった。交通はかなり不便であって、専門部会の方がたには負担になったと思われる。ニュースレター「金沢のみどり」の定期発行や月ごとの例会は計画通りであった。合同調査（合同採集）は、月あたり数回の頻度で実施された。

集約された標本・原票は約20,000件で、うち、添付のラベルや原票の記録に瑕疵があって補正を要するものや栽培植物、標本が不完全で同定不能のものは、本報告書では除外してある。また、整った標本・原票であっても、今回の調査対象地域外などのデータは、データを電子化した段階で、今後の調査の

ために別に仕分けした。

電子化されたデータ（レコード）件数は、約6,920件で、その内訳を年度ごとにあげると（概数）、それぞれ1998年度1,215件、1999年度1,764件、2000年度3,945件前後であった。電子化は、すべて金沢計算センターによっておこなわれた。

校正と問題のあるレコードの訂正・削除は電子化されたデータについてもおこなわれたので、最終的には6,804件のデータ（レコード）を調査対象地域における信頼性の条件を満たしたデータとして、解析の目的に使用した。なお、調査対象地域外から収集されたデータも信頼性のあるものは、前記の調査対象地域のデータとともに、統合的なデータベースの構築に供された。

3 対象地域

3-1 位置と範囲

金沢市全域を地形的に大きく区分すると、山地、丘陵、扇状地、平野、海岸、湖沼・河川などに大別できる。これをさらに大きく三分にまとめて、山地、丘陵・扇状地、平野・海岸とし、湖沼・河川をそれぞれの分布する領域に所属するものとして調査対象区域を設定した。本調査の調査対象区域は、概ね丘陵・扇状地に相当する。

藩政時代の金沢は、犀川と浅野川によって開析された段丘の末端とその谷底平野、河成段丘上に主として立地した都市で、両河川の扇状部分を多少とも含んでいた。扇状地の末端は JR 北陸線よりやや海岸よりで、北陸自動車道が限界であり、そこから先は海岸平野となっている。1960年代から進行した都市化は、現在、すでに海岸に及んでいるが、概ね、JR 北陸線で境界づけられる線より上流側が、1960年代までに都市化されていた区域（いわゆる旧市街）である。これを「丘陵・市街地」と呼称し、本調査の調査対象地域とした。

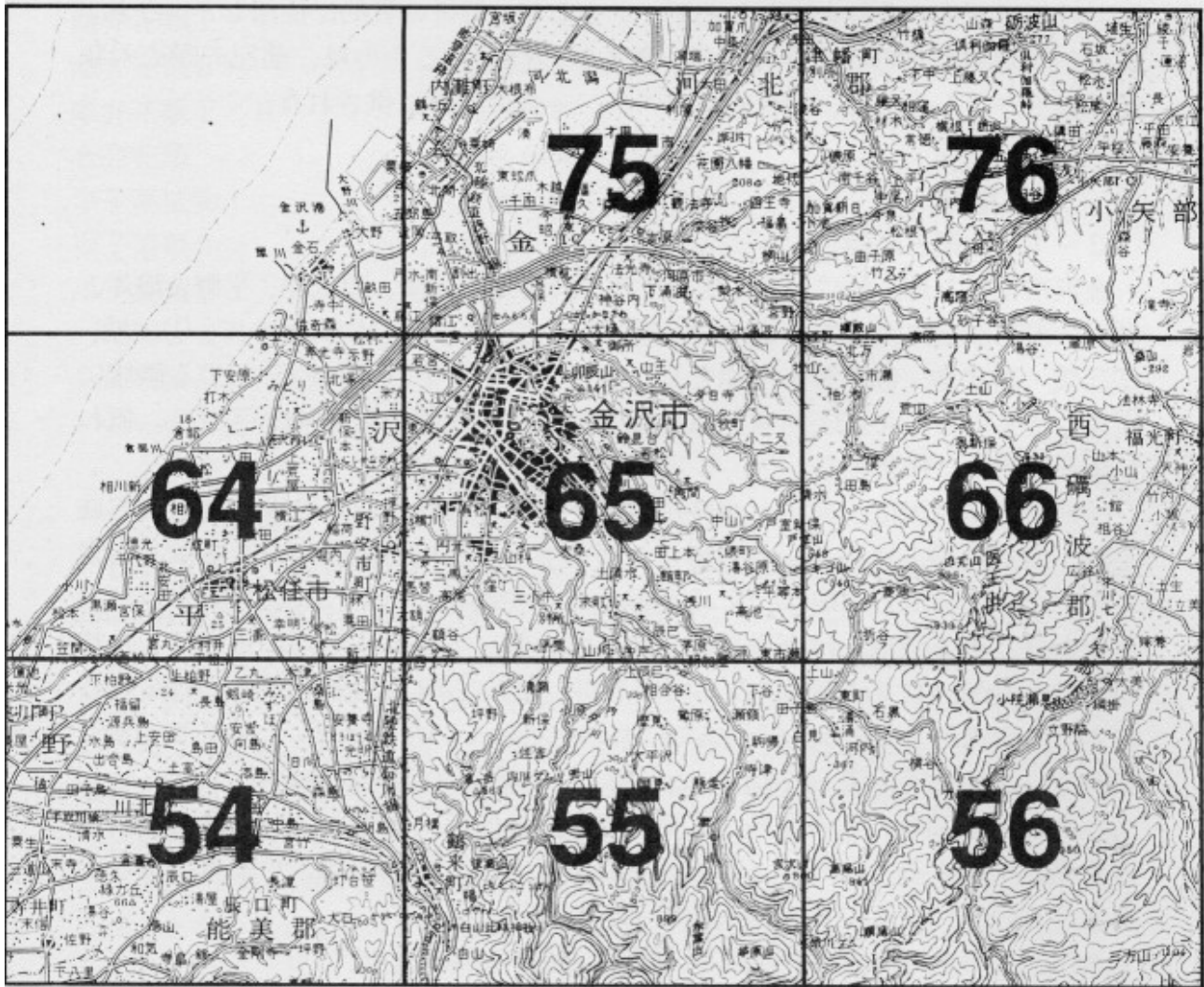
本調査の「山地」との境界は、概ね地形上の段丘・台地および丘陵と、山地の境界に一致する。ただし、辺縁部には医王山地、富樫山地、戸室火山地などを含んでいる。

具体的な調査対象地域の範囲を、図1、図2に図示した。

図1の2桁の数字は、標準地域メッシュ・システム（昭和48年行政管理庁告示143号「統計に用いる標準地域メッシュ及び地域メッシュコード」）の、第2次地域区画（2次メッシュ）のコード（6桁）の下二桁を表示している。上四桁は5436で第1次地域区画（1次メッシュ）のコードで共通のため、省略されている。第2次地域区画は、国土地理院の1:25,000地形図の図幅の範囲と一致するので、次にこの二桁の数字と1:25,000地形図の図幅名の対応関係を示す。

5 4 3 6 - 7 5 : 粟崎、5 4 3 6 - 7 6 : 倶利伽羅
 5 4 3 6 - 6 4 : 松任、5 4 3 6 - 6 5 : 金沢、5 4 3 6 - 6 6 : 福光
 5 4 3 6 - 5 4 : 粟生、5 4 3 6 - 5 5 : 鶴来、5 4 3 6 - 5 6 : 湯涌

図1 調査対象地域における第二次地域区画



国土地理院発行の20万分の1地形図(金沢)を使用

図2は、第2次地域区画を縦、横にそれぞれ10等分したもので、この小区画が第3次地域区画(3次メッシュ) すなわち、基準地域メッシュである。この基準地域メッシュは、八桁の数字で表示されるが、上六桁は2次メッシュのコードで同一図幅(1:25,000地形図)内では共通で、下二桁が異なる(後述)。図で網目の範囲が、調査対象地域である。

具体的には次の通りである。

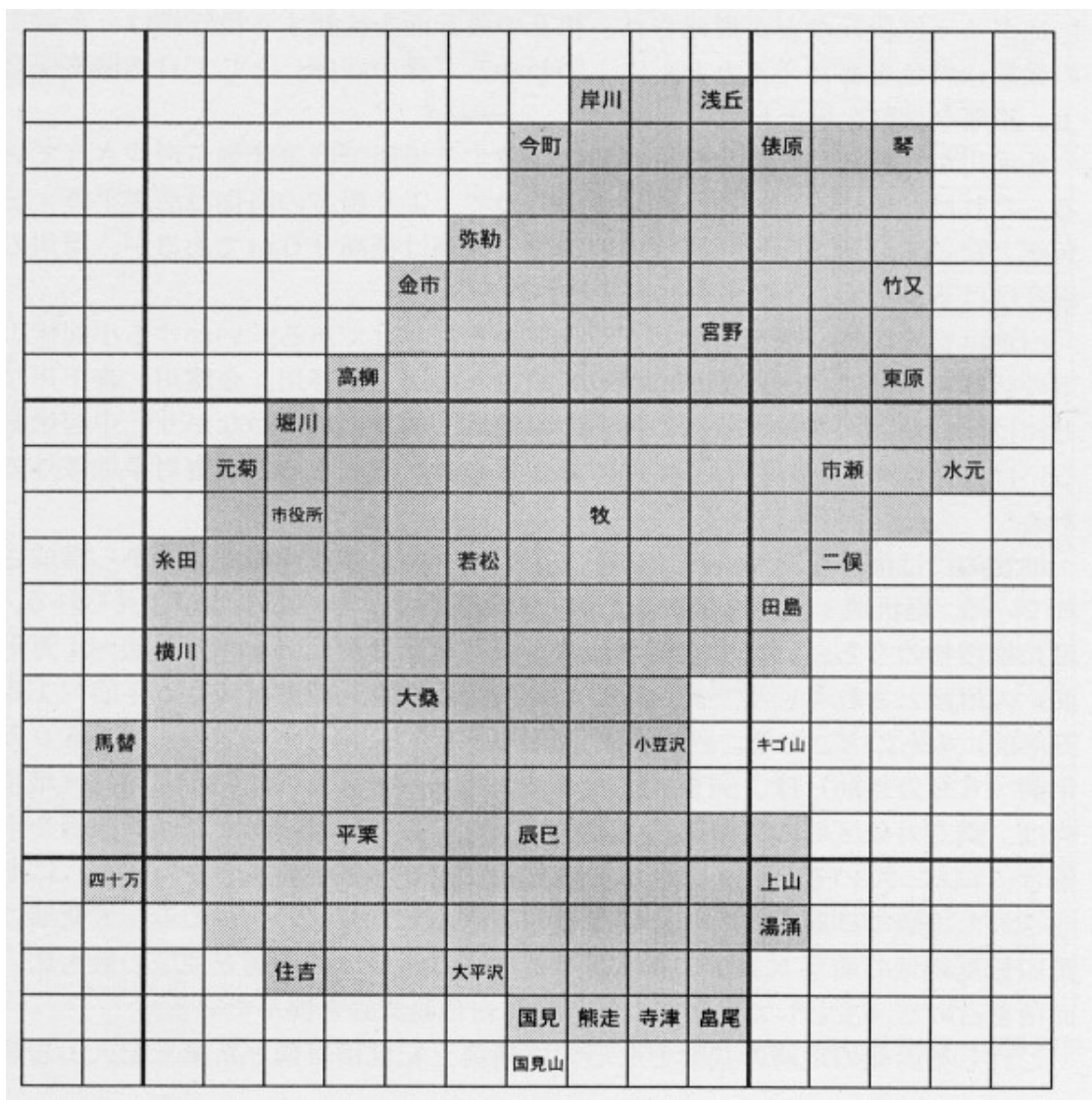
北端: 5436 - 7567 (岸川町) 南端 5436 - 5566 (国見町)

西端: 5436 - 5499 (四十万) 東端 5436 - 6683 (水元町)

最高地点: 標高500m (国見山北端) 最低地点: 標高1m (岸川町)

図2 調査対象地域

区画は基準地域メッシュ(一辺約1km)



3 - 2 地形および地質

調査対象地域の大部分は、津幡・森本丘陵からなっていて、標高は概ね250m程度である(図3参照)。東方は砺波丘陵とよばれ、小矢部川流域に属する。この丘陵は日本海あるいは河北潟に注ぐ手取川、犀川、浅野川、金腐川および森下川により5つに分割され、北から四坊丘陵、山王丘陵、卯辰丘陵、野田山丘陵、辰口丘陵を形づくっている。野田山丘陵は標高がやや高く350m程度である。このうち、手取川流域と辰口丘陵は調査対象地域には含まれないので、以下の記述からは省略する。

調査対象地域の南東部は戸室火山の泥流丘となって、多くの小丘と谷に湖沼が点在する特色のある区域である。

特に犀川、浅野川には数段の河成段丘が発達し、顕著な地形となっている。段丘は野田山の高位段丘、寺町台・小立野台の中位段丘、笠舞から香林坊などに広がる下位段丘などが形成され、相互の段丘面を接続する段丘崖は、金沢市の景観に特色をあたえるとともに、いわゆる「緑の回廊」として自然環境保全上、重要な役割を果たしている。

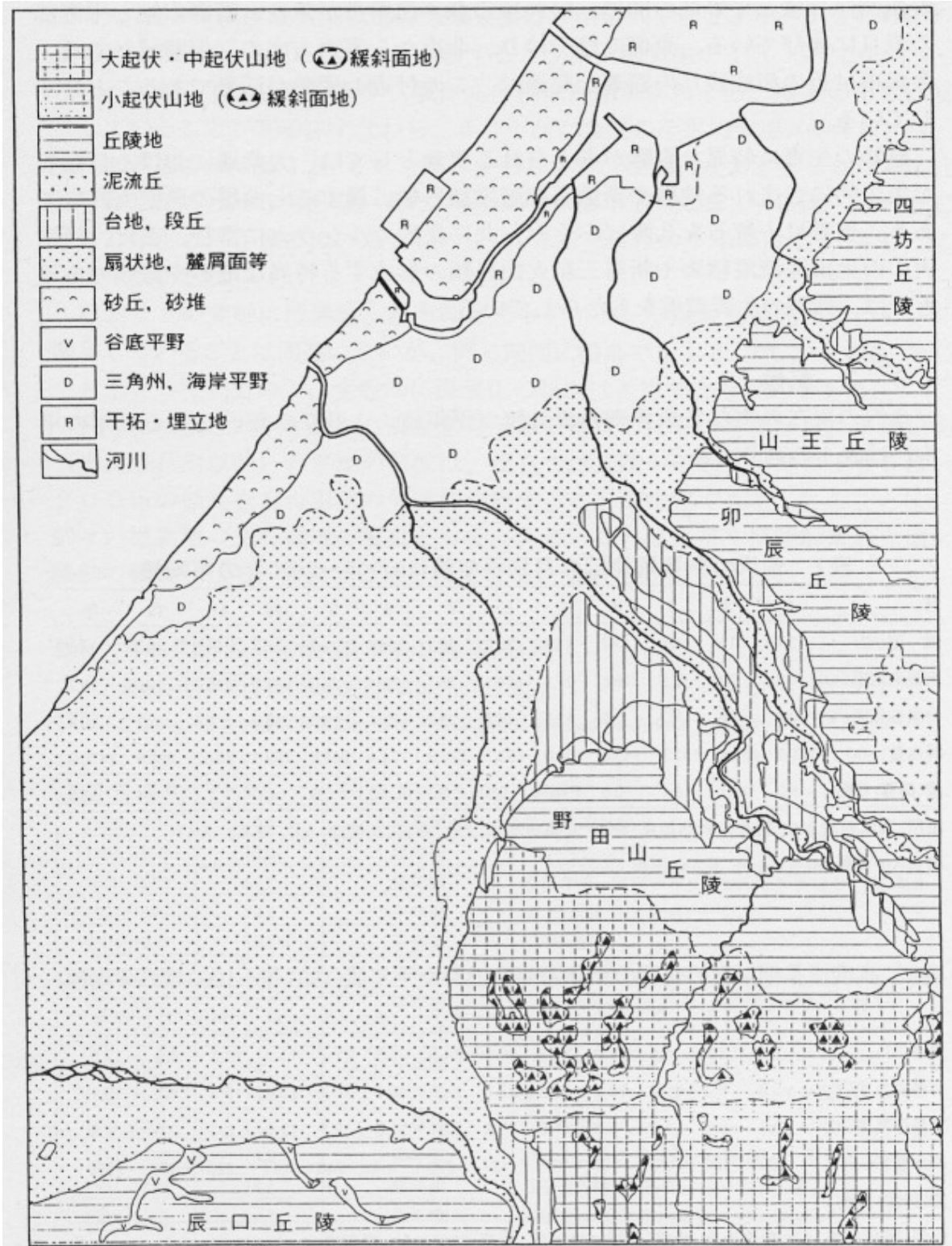
各河川が開析した丘陵から平野部に接続する場所では扇状地が形成されている。これは、手取川扇状地に連続するもので、より西方の海側は海岸平野・三角州となっている。手取川扇状地の扇央の標高は標高90mであるが、犀川の場合にははるかに低く17m程度と推定される。

山地は富樫山地、医王山地のごく一部を含むだけである。いわゆる小起伏山地の状態では頂部には緩斜面が広がっている。犀川、浅野川、金腐川、森下川などには河成段丘が発達する。これらの山地は、加賀山地につながり、中起伏あるいは大起伏の状態に移行していくが、このあたりになると調査対象地域外である。

地質的には海岸平野や各河川の河谷平野は、いわゆる沖積堆積物から構成されている。扇状地・崖錐堆積物は更新世から完新世にかけての堆積と見られる。段丘堆積物のうち、低位・中位段丘のものは後期更新世(15万年前~1万年前)の所産とされている。高位段丘の堆積物は中期更新世(40万年前~15万年前)のものとされる。戸室山火山噴出物のうち、溶岩ドーム火山岩(50万年前~60万年前)は、調査対象地域にはほとんど含まれない。火山泥流堆積物は、調査対象区域の東南部を台地状に大きく占める堆積物で、卯辰山層を不整合におおっている。卯辰山層は中期更新世(80万年前~50万年前)に形成された地層で砂層を主とし、調査対象地域の大きな部分を占める。大桑層は第四紀更新世の前半(165万年前から80万年前)で、調査地域の最も広い面積を占める。主として砂層で、最下部に白色凝灰岩を挟んでいる。

これら第四紀の地層の基盤となるのは新第三紀堆積岩類と新第三紀火山岩類

図3 本地域の地形概況



出所: 日本地図センター. 1997. 地図で見る金沢の変遷 解説

で、前者は調査対象地域に露出して、かなり広く分布している。調査対象地域の西側は丘陵と平野部の間に、いわゆる森本急斜帯が走り、富樫山地と平野部の境目に伸びている。東側にはやはり、北東から南西方向の二俣断層がある。金沢市付近の河成段丘の顕著な発達、この付近の変動が活発であることを示している。

植物の生育に特異な影響が考えられる要素としては、大桑層における貝化石が集中的に含まれる地層や新第三紀層堆積岩類に属する七曲層の黒壁玄武岩である。後者は方解石を孔隙にふくみ、共に炭酸カルシウムに富む。また、戸室火山の火山泥流堆積物や新第三紀火山岩類の形成する特異な地形や露頭のあるものは、独特の生育環境をもたらしている。

3 - 3 気候

金沢の現在の主な気象要素の統計値（平年値：1971年～2000年の平均）は表1の通りである。

表1 金沢の気象観測値の月別平年値(1971年～2000年の平均値)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
気温(°C)	3.7	3.6	6.5	12.2	16.9	20.9	25.1	26.6	22.2	16.7	11.3	6.5	14.3
日最高気温(°C)	6.8	6.7	10.5	16.6	21.4	24.5	28.7	30.4	26.0	21.0	15.3	10.0	18.2
日最低気温(°C)	0.8	0.6	2.7	7.9	12.6	17.7	22.2	23.1	19.0	13.0	7.4	3.2	10.8
降水量(mm)	265.9	184.4	153.3	143.6	154.0	193.7	226.8	164.4	241.9	188.3	267.2	286.9	2470.2
雪(降雪)日数	19.0	16.7	8.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	9.4	55.0

出所:理科年表.2002.現在の観測地点:金沢(北緯36度35.2分、東経136度38.3分、標高5.7m)

暖かさの指数:WI=114.9、寒さの指数:CI=-2.7

表2 高度成長期以前の金沢の気象観測値の月別平年値(1931年～1960年の平均値)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
気温(°C)	2.5	2.5	5.5	11.0	16.1	20.2	24.5	25.9	21.7	15.6	10.5	5.6	13.5
日最高気温(°C)	5.8	6.2	10.2	16.6	21.5	25.0	28.9	30.9	26.7	20.6	15.3	9.4	18.1
日最低気温(°C)	-0.3	-0.5	1.7	6.2	11.5	16.6	21.1	22.0	18.2	12.0	6.7	2.5	9.8
降水量(mm)	309	191	173	164	135	167	223	154	248	217	225	353	2559
雪(降雪)日数													

出所:理科年表.1966.観測地点:金沢(北緯36度33分、東経136度39分、標高27.6m)

暖かさの指数:WI=106.7、寒さの指数:CI=-5.0

注目されるのは、20世紀半ばより温暖化の傾向が顕著なことである(表3、図4)。表2に高度成長期以前の気象要素の平年値(1931年~1960年の平均)を掲げた。表1と表2を比較すると、年平均気温で13.5 から14.3へと約1の上昇があり、暖かさの指数が増加する一方、寒さの指数は減少していることが判る。すなわち、40年前の金沢の年平均気温(平年値)は、現在の新潟の平年値13.5と同じであるから、距離になおすと200km近く移動したのと同じである。また、現在の金沢の年平均気温(平年値)14.3は40年前の平年値では、名古屋の14.4(現在の平年値は15.4)にほぼ一致する。

なお、この変動には無論、都市のヒートアイランド現象も要因の一つとして関与していることは間違いないが、同じ期間に輪島でも12.7から13.2へと上昇しているので、全般的に温暖化の傾向は否定できないのである。

表4には現在の平年値から高度別の気温を推定したものを掲げた。半世紀前(高度成長期以前)の平地の気温は、現在では丘陵~小起伏山地の100m~200mの標高をもつ場所の気温に相当することが推定できる。このことは、個々の植物種の生育環境の変動として、あるいは、植生帯や植物群落の立地・移動の要因として、無視することのできない問題である。

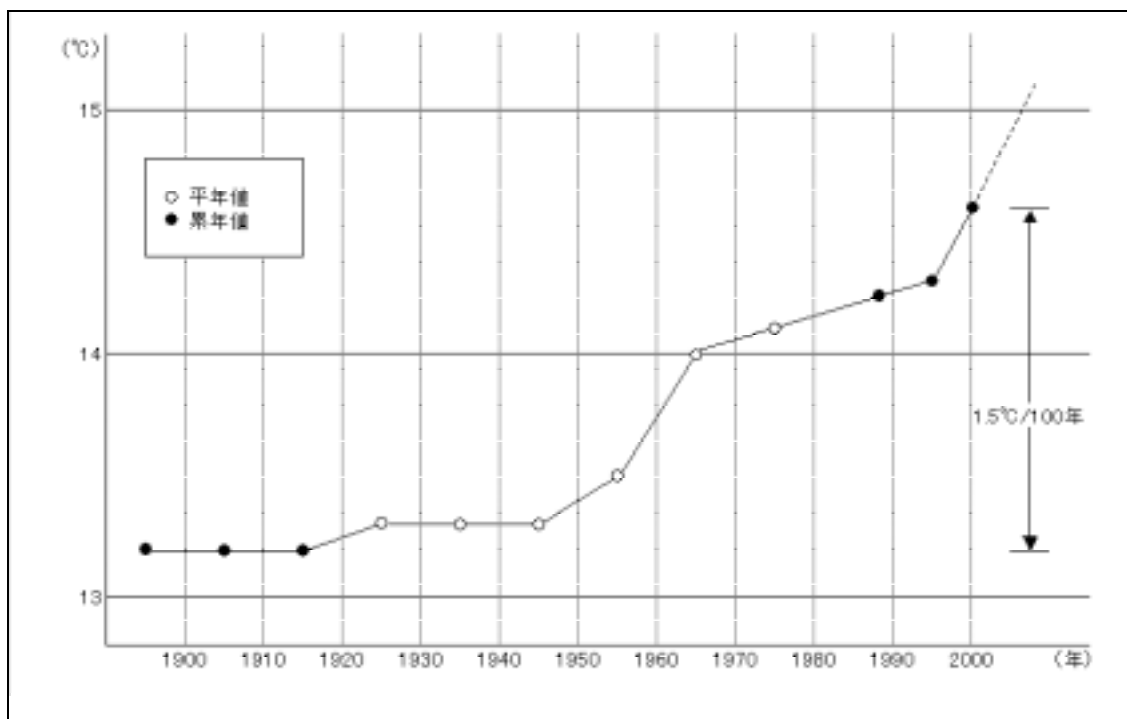
表3 年平均気温平年値・累年値の推移(金沢)

最近の100年間に年平均気温平年値は、1.5℃上昇した。

このうち、0.5℃分は金沢市のヒートアイランド現象によるものであろう(本文参照)。

期間(年・西暦)	平均気温(℃)	平年値・累年値の区別	【観測地】
1886-1890	13.4	累年値	金沢地方気象台
1886-1900	13.3	累年値	【データの出所】
1886-1910	13.2	累年値	理科年表、創立百年史(金沢地方気象台)、気象年報(金沢地方気象台)
1891-1920	13.2	平年値	
1901-1930	13.2	平年値	【平年値】
1911-1940	13.3	平年値	30年間の年平均値の平均
1921-1950	13.3	平年値	(西暦年号の1桁目が1から始まる年から数えて
1931-1960	13.5	平年値	30年間をとる)
1941-1970	13.7	平年値	【累年値】
1951-1980	14.0	平年値	30年に満たない期間についての年平均値の平均
1961-1990	14.1	平年値	【推定値】
1971-1998	14.3	累年値	トレンドからの推定値(表1参照)で、平年値・累年値を通る線が、各年において示す値。
1981-1998	14.4	累年値	
1991-1998	14.7	累年値	当該年の観測値ではないことに注意。
1901	(13.2)	推定値	【最近の100年間(1901-2000)の変動】
2000	(14.7)	推定値	1.5℃/100年

図4 年平均気温の変動(金沢)



プロットは各統計期間の midpoint に落としてある。

1900年～1920年頃: 13.2°Cでほぼ安定

1930年～1940年頃: やや上昇気味であるが13.3°C程度

1950年～2000年頃: 急な上昇で14.7°Cに達し、この100年間の気温上昇の大部分はこの期間に起こったものである。

出所: 石川の植栽樹種検討委員会編2001.石川の植栽樹種100選

3 - 4 植生

表5は石川県植生誌編纂委員会(1997)から引用したものであるが、調査対象区域の気候学的植生帯は、標高ほぼ300mまでは照葉樹林帯であり、そこから500mまでは暖温帯落葉広葉樹林帯である。

この表はやや古い時期の平年値を用いているので、金沢の標高300mで寒さの指数が-10になっているが、これは照葉樹林の上限である。ところが、表4から明らかのように現在では、冬季はもちろんのこと春や秋も以前より暖かいので、寒さの指数が-10となるのは400mを超えたところで、従来より100m以上上昇している。ところが、気候学的な冷温帯落葉広葉樹林帯の下限は、暖かさの指数85と一致する。現在、標高500mの暖かさの指数は85.9であるから、従来とほぼ同じである。

このことが意味するものは、従来は金沢付近で200m程度の標高幅のあった、暖温帯落葉広葉樹林帯の著しい縮小ということである。いわゆるモミ林、ケヤキ林をはじめとする中間温帯林の成立条件が著しく衰退していることになる。

表4 高度別の気温推定値(1971年～2000年の平均値より算出)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年	WI	CI
500m	0.7	0.6	3.5	9.2	13.9	17.9	22.1	23.6	19.2	13.7	8.3	3.5	11.4	85.9	-12.2
400m	1.3	1.2	4.1	9.8	14.5	18.5	22.7	24.2	19.8	14.3	8.9	4.1	12.0	92.7	-9.3
300m	1.9	1.8	4.7	10.4	15.1	19.1	23.3	24.8	20.4	14.9	9.5	4.7	12.6	97.5	-6.9
200m	2.5	2.4	5.3	11.0	15.7	19.7	23.9	25.4	21.0	15.5	10.1	5.3	13.2	102.9	-5.1
100m	3.1	3.0	5.9	11.6	16.3	20.3	24.5	26.0	21.6	16.1	10.7	5.9	13.8	109.3	-3.9
観測地点(5.7m)	3.7	3.6	6.5	12.2	16.9	20.9	25.1	26.6	22.2	16.7	11.3	6.5	14.3	114.9	-2.7

WI:暖かさの指数、CI:寒さの指数、気温減率は0.6°C/100mと仮定

表5 石川県の植生帯と植物群落域の垂直分布

植生帯	輪島		金沢		白峰			垂直分布(加賀地方)	
	WI	CI	WI	CI	WI	CI	CI	植物群落域	
氷雪帯									
高山帯	0	3300	0	3500	0	3700		白山山頂	
亜高山帯	15	2200	15	2400	15	2580	2400	ハクサンシャクナゲ下限	ハイマツ群団域
							2100	オオシラビソ上限 ハイマツ下限	
							1700	オオシラビソ下限	コケモトウヒクラス域 (ダケカンバ群団域)
							1600	ブナ上限	
冷温帯落葉 広葉樹林帯	45	1200	45	1400	45	1580			ブナクラス域
暖温帯落葉 広葉樹林帯	85	300	85	500	85	670	480	白峰村下限	
	(-11)		(-14)		(-17.6)		450	ウラジロガシ上限	
照葉樹林帯	88	250	95	300	100	350	400		ウラジロガシ群団域
	(-10)		(-10)		(-10)		200	ブナ下限	
							50	スダジイ上限 タブ上限	スダジイ群団域
	101		112		119				

WI は暖かさの指数、CIは寒さの指数(丸カッコ内)、それぞれの観測地点の月平均気温から気温減率0.61°C/100mで計算。植生帯の区分・名称は主に吉良龍夫による。ヤブツバキクラス域はスダジイ群団域とウラジロガシ群団域をふくむ。コケモトウヒクラス域は本来、ダケカンバ群団域とハイマツ群団域を包含したものであるが、ここではハイマツ群団域を区別してある。(古池1991を一部改変)

出所:石川県植生誌編纂委員会.1997.石川県植生誌

従来、この気候学上の暖温帯落葉広葉樹林帯が金沢付近ではあまり明瞭でなく、その理由は表5の右側にしめしたように、冷温帯落葉広葉樹林すなわちブナクラス域の下降によって狭められているか、あるいは消失していると解釈されてきた。しかし、近年の気候変動＝気温の上昇によって、寒さの指数CI = -10の標高が上昇し、気候学上もこの領域がきわめて狭まったことがあきらかである。

このことは、最近顕著になってきたこの領域を生活域とする植物種の衰退の一つの根拠となるものである。

なお、植物分布は植生分布と深い関連があるが、具体的な植生分布については、石川県植生誌にゆずる。

3 - 5 土地利用

調査対象地域は高度成長期（1960年代）までの市街地と、その後の土地造成など開発が進んだ隣接の丘陵である。

市街地は、非常に古くから都市化した区域で、現在の金沢城址本丸付近に一向一揆が金沢御堂を築いたのが1546年のことであるから、450年余の経過がある。1600年頃より金沢城を中核とした、金沢の都市計画が展開されるが、1660年代にほぼ完成したとされる。

植物地理学的な観点から、第一に注目されるのは、家臣団の屋敷の配置、および3つの寺院集中群である。家臣団の屋敷（いわゆる武家屋敷）は広大な緑地を確保し、寺院集中群は境内・寺社叢林を発達させた。寺町の寺院集中群、小立野寺院群、卯辰山山麓寺院群などはそれぞれの場所に、大きな都市緑地を発達させてきた。

第二には、犀川と浅野川の河成段丘崖の緑であって、これは「緑の回廊」を形成して、丘陵・山地と都市を接続した。また、犀川・浅野川を結ぶ水路・用水や湧水とその流れなどは水辺の茂みを構成するとともに、種子などの散布体を運搬、鳥類・魚類などの移動路となった。

第三には、この地域の植物と人間活動との深い関わりである。河成段丘崖の緑地、武家屋敷や寺院群の都市緑地の植物は、この地域の特徴をそなえた自然群落あるいは半自然群落を形成したが、その構成種に寺院や屋敷における植栽種を含むなど、栽培植物とも深い関わりをもっている。さらに栽培植物の育種に関わる問題がある。たとえば、この土地は中間温帯林域を中心に、ユキバタツバキが分布するが、これはユキツバキとヤブツバキの雑種であることから多様な変異があり、園芸品種開発の材料（原種）となったことは良く知られている。これを要するに、金沢においては基本的にこのような野生系、半野生系、栽培系の植物種のシステムが、長い時間をかけて相互に影響しあいながら、統

合されていったところに、ひとつの特徴がある。

このシステムに大きな変化がおこるのは高度成長期の時期で、昔の武家屋敷はほとんど失われ、寺院の境内・寺社叢林の多くは用地として切り売りされ、あるいは駐車場となった。また、河成段丘の緑も、工作物にとって変られたところが少なくない。用水は三面張りのコンクリート護岸となり、ほとんどの湧水は枯渇した。また、排泄物処理はかつての田畑の肥溜め・肥料化の方法が化学肥料にとって変られたため、不完全なし尿処理施設が使われて、用水の汚染が顕著となった。この点での、環境保全の取り組みが緒につくのは、ようやく1990年代の初めであるが、現在も回復からは程遠い状態にある。

以上のような経過をたどったとはいえ、金沢の市街地はまだ、類似都市と比較すれば自然度の高い都市とされる。実際に生物の多様性は、他に比して高い状態にある。これは中心部の金沢城址・兼六園・本多の森からなる都市緑地＝「緑の心臓」が、かつてほどの状態でなくとも一応は機能しているからである。しかし、これは旧市街地について言えることで、今回の調査対象区域の外に形成された新しい市街地については、きわめて、残念な状態にある。これには、金沢市の「緑の基本計画」の策定時には、まだ、生物多様性の保全の観点が行政目標となっていなかったことも要因の一つである。

丘陵の区域は、高度成長期以後、土地造成の場として開発が進んだことは、金沢市においても全国の他の都市と同様である。この開発は直接に野生植物の生活環境を失わせた。

もともと、これらの区域は、気候上その大部分が照葉樹林帯であり、上部に暖温帯広葉樹林帯をのせていることは、表5に見る通りである。しかし、この領域は都市に燃料を供給する薪炭林として活用されてきたため、また、「刈敷(かりしき)」など水稻栽培に深い関わりのある利用のために、頻繁な伐採や下草の採取などにより、アベマキ、コナラ、ミズナラなどの夏緑林の相観を保ってきた。また、肥料分を失った尾根などには、アカマツやネズなどの生活環境が形成された。つまり、人為的な管理方法により本来の照葉樹林帯を、気候学的には標高400m～500mの場所から始まるブナを代表とする冷温帯落葉広葉樹林帯の相観を有する人工林あるいは半自然林に変貌させてきたのである。いわゆる里山の景観が成立していたわけである。

1960年代以降は、燃料が石油に転換されたため、薪炭林の経済的存立が困難となった。また、水田に使われる肥料が有機肥料から化学肥料に転換したため、水稻栽培との結合を失った。原野(草原)については、このほかに農業の機械化により農耕用家畜が不要となり、まぐさ刈のための「カヤ場」が無くなるなど、その維持のために必要な経済的根拠が失われたことがあげられる。その結果、管理を放棄された森林、原野は遷移の進行により、本来の潜在植生

である照葉樹林に移行しつつあるのが現状である。

このようにして、温暖化と遷移の進行によって生活環境を失った野生植物は少なくない。たとえば品川(1961)は卯辰山について、松田(1962)は南部の丘陵についての高度成長期以前の植物目録であるが、そこに記録されている植物相を今回の調査結果と比較すると、調査の厳密さや徹底の程度の議論はさておいて、顕著な変化を認めないわけにはいかない。

今回の調査で明らかとなった国、石川県の絶滅危惧種31種類、保全上重要な植物種115種類、合計146種類の存在は、主として1960年代以降の丘陵・旧市街地の土地利用の変貌と気候変動から説明されるものである。

4 調査方法

4-1 調査方法の概要

本調査の調査方法は、この調査の開始にあたって作成した2つのマニュアル、すなわち、「植物調査の手引き(地域調査用)」と「標本整理の手引き(専門部会用)」に詳細に述べられているので、具体的な記述はこれにゆずる。

大要は、まず地域調査(部会)において、採集した標本と採集者ラベル、原票の3つを1件ごとに一まとめに扱い、専門部会において整理・同定したのち、原票のみを分離して、これを電子化の工程に送る。電子化されたデータは数回の校正をへて、誤りを訂正し、データベース化される。原票は永久保存とする。また、採集者ラベルの添付された標本は、後日の再点検とデータの証拠としてこれとは別に標本庫において、良い状態で永久保存される。本調査の場合、標本・原票とも、金沢みどりの調査会が保有し、原票は金沢みどりの調査会が保存し、標本は現在のところ、石川県自然史資料整備室(金沢市米泉四丁目)において、良好な状態で保存されている。

4-2 メッシュ・システム

本調査においては採取地点を明確にする表示するため、「標準地域メッシュ・システム」(昭和48年行政管理庁告示第143号「統計に用いる標準地域メッシュ及び標準地域メッシュコード」、ならびに、それに準拠したJIS)を採用した。調査単位は基準地域メッシュ(一辺約1km)とし、実際この精度の記述が大部分であったが、表示は1/8メッシュ(一辺約125m)まで可能なように設計されている。

このメッシュ・システムの採用については、一見複雑のように思われたが、特に大きな問題は生じなかった。

このシステムは緯度・経度に根拠をおいているので、2002年4月1日に施行される改正測量法の実質的影響を受ける。しかし、本会としては本調査以

降も、データの統一性確保のために、当分の間は現行システムの方式を踏襲することになっている。

4 - 3 原票の作成

原票は、電子化のさいの1件ごとのデータ資料(レコード)である。標本・採集者ラベルは一次資料であるが、そのままでは、打ち込みができないので、オペレーターは原票により打ち込みを行う。メッシュコードには誤記があるが、それをチェックするため、地名欄も記入する。実際にはフィールドでは正確な地名は不明なことが多く、正確な場所はメッシュコードでわかるので、チェックできる程度の正確さがあれば十分である。

学名欄と和名欄は、通常は使わない。名称の処理は通常は環境庁の分類コードを使用することになっているからで、同定もこれによる。環境庁のコードの使用が不適切な場合には、同定者の責任で、採用すべき学名・命名者名と和名を明記する。(注:自動名 autonym の場合を含む。)また、栽培植物で栽培品種名まで同定可能な場合にも、学名欄にその植物の名称を cultivar epithet (栽培品種名)まで記入する。

4 - 4 標本および採集者ラベルの作成

標本の作製と採集者ラベルの作成は、住居周辺など身の回りで調査した場合には、特段の工夫を要しない。合同調査などの場合には、採取地を特定するため、採取した植物標本ごとに付箋をつけたり、基準メッシュごとに標本を収納する袋を替えるなどの工夫がおこなわれた。

4 - 5 標本・採集ラベル、および原票の集約

標本・採集者ラベルと原票の集約は、直接、標本管理施設に持参するか、市役所の窓口などを通じておこなった。また、宅配便や郵便小包によった場合もあった。これらはすべて、最終的には標本管理施設に集約された。

4 - 6 標本の同定と原票の整理・点検・補正

集約された梱包には、所定の送り状が添付されているので、担当者はこれを0手がかりに点検をおこない、大きな分類群ごとに仕分ける。各分類群の担当者は仕分けされた標本・採集者ラベル・原票をまとめて、標本の同定、採集者ラベルと原票の仕上げをおこなう。

同定結果は、採集者ラベルに同定者名などと共に付記するか、更に同定ラベルを作成して標本に添付する。

4 - 7 情報のデジタル化

原票は完成次第、専門部会の担当者の手で、標本・採集者ラベルと分離されて分担者ごとの束に纏められ、打ち込み業者に渡される。本調査の電子化は金沢計算センターが実施した。

なお、電子化されたデータは、よく点検して調査対象地域外のレコードの混入などを除いたのち、そのハードコピー（打ち出し）とともに金沢市に提出された。

4 - 8 標本および情報の保存

これはきわめて重要な段階で、データの再点検と将来の検討に備えておこなうもので、ラベルの仕様、筆記用具、糊などもこの視点から吟味され、選択された。一般に科学的なインベントリー調査にとって標本とデータの永久保存は調査の一環をなすものであるが、しばしば、周囲からは理解されないのは残念である。

ちなみに、前に引用した品川（1961）や松田（1962）、あるいは府坂ほか（1962）などでは、これらの文献が金沢大学理学部の学生・研究生などによって執筆された関係上、準拠した標本の採集者番号が植物採集目録に記載され、かつ、当時の標本が現在も金沢大学理学部付属標本庫に保管されているので、いつでも同定の吟味をおこなうことが可能である。このことにより、本調査の成果との厳密な比較も可能となるのである。

本調査において前に述べた通り、現在のところ、原票は金沢みどりの調査会が保有し、標本は石川県自然史資料室において保存措置がとられている。

5 結果

調査結果を、下記の3つの付表にまとめ、末尾に添付した。

- 1) 「金沢市植物目録（丘陵および市街地）」
付 金沢市植物目録（丘陵および市街地）の統計表
- 2) 「金沢市に分布する絶滅危惧植物（国、石川県）一覧表」
- 3) 「金沢市において保全上、重要な植物リスト」

以下、これらの付表について説明する。

5 - 1 金沢市植物調査による植物相

「金沢市植物目録（丘陵および市街地）」は現地調査により、植物標本と採集者が作成した採集者ラベルならびに原票が揃い、同定が満足すべき水準でおこなわれたものを基礎データとして作成されたものである。

大要は金沢市植物目録（丘陵および市街地）の統計表記載の通りで、その総

数は814種類であった。今回の調査で現地調査・標本採集が行われた種類であっても、メッシュコードで指定された所定の範囲外のもの、当然含まれていない。

分類群の範囲はシダ植物と種子植物である。

この目録には 野生植物、 半野生の状態の野生植物、 逸出、帰化など栽培の状態にはない栽培植物、が採録されている。現に、栽培されている栽培植物は除外してある。 については当然、国際栽培植物命名規約の適用があるが、この目録では、国際植物命名規約の範囲にとどめて、cultivar epithet (栽培品種名)は付与していない。なお、栽培地の田畑や花壇等における雑草などは、当然、栽培の目的物ではないから、採録されている。雑木林、原野、ある種の牧場のような粗放的栽培の場合には、半野生状態とみなして採録した。公園を含む都市緑地の場合も、温室・花壇等で定常的な保育がおこなわれていないものは採録した。これを要するに、純粋な栽培状態にある栽培植物以外は採録したことになる。この目録から除外した栽培植物については、別の機会に公表する。

国際植物命名規約は、出版物においては、特に分類学や命名を扱う場合には、命名者の引用が望ましい(セントルイス規約第46条)としており、この目録も当然これにしたがっている。ただし、命名者名の省略法については、同規約勧告46A Note 1でふれている Brummitt & Powell の著作に必ずしも従わず、我が国での慣行にしたがっている場合がある。

分類の体系は、この調査が環境行政に用いられることを考慮して、環境庁自然保護局(1994)によっている。ただし、学名はこの調査対象地域の実態に即して個別に吟味したので、この文書に載っていない名称(学名)を用いた場合がある。

この目録には都市活動を中心とした人間活動の反映が顕著で、本来の生育地から離れて生育している植物種も認められる。

図5は従来の調査研究により認められている石川県の植物学的区分を示したものであるが、調査対象区域はこのうち、口能登・加賀中央部植物小区系の加賀中央区に属する。今回の調査により、この区分の変更を必要とする事実はみとめられなかった。

図5 石川県の植物地理学区分と植生地理区分(概念図)

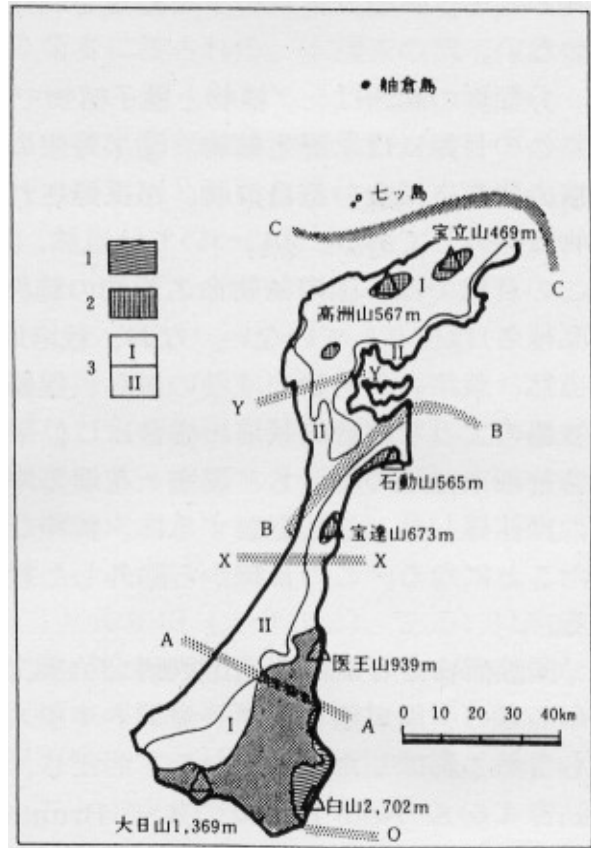
本書の本文の記述で用いた地域区分は次の通りである。この区分は、石川県内のシダ植物・種子植物の分布の調査・研究にもとづいてつくられたもので、現在のところ最も妥当性があると思われる。

- ア 舩倉島・七ツ島植物小区系:C-C以北
- イ 奥能登植物小区系:C-C~B-B
 外 浦 区:能登半島脊梁部より外浦側
 内 浦 区:能登半島脊梁部より内浦側
 中能登区:B-B以北で、Y-Y以南
- ウ 口能登・加賀中央部植物小区系:B-B~A-A
 口能登区:B-B以南で、X-X以北
 加賀中央区:X-X以南で、A-A以北
- エ 南加賀植物小区系:A-A~O
 白山高地区:南加賀植物小区系のうち、亜高山帯・高山帯(コケモモトウヒクラス域)
 南加賀区:南加賀植物小区系のその他の地域

石川県の植生地理区分は植物地理学区分と植生域の組合せとして存在する。(詳細は本文参照)

植物地理学的区分線 このあたりにフロアの滝があると推定される。

A-A:手取川(鶴来)と大門山を結ぶ線、B-B: 邑知瀧低地帯を通る線。以下、フロアの弱い滝があると推定される線。X-X: 倶利伽羅峠を通る線、Y-Y: 富来川と熊木川を通る線。



植物地理学的区分 区分線に挟まれた領域でそれぞれ特徴をもつ。

- C-C以北:舩倉島・七ツ島植物小区系
 C-C~B-B:奥能登植物小区系
 B-B~A-A:口能登・加賀中央部植物小区系
 A-A~O:南加賀植物小区系

植生域

1. コケモモトウヒクラス域、2. ブナクラス域、3. ヤブツバキクラス域。うち、ヤブツバキクラス域はつぎのように区分される。
- I. ヒメアオキーウラジロガシ群団域 II. スダジイ(典型)群団域

(出所:古池1990)

5 - 2 金沢市における国および県の絶滅危惧植物の分布

野生植物のレッド・データブックは、我が国全体を対象としたもの（環境庁自然保護局野生生物課、2000）と石川県内を対象としたもの（石川県絶滅危惧植物調査会、2000）が、近年、刊行された。これらのレッド・データブックに掲載された植物種で、前述の目録に記載されたもののリストを「金沢市に分布する絶滅危惧植物（国、石川県）一覧表」にまとめた。ただし、金沢市東原町のミスバショウは、保護されているので意識的に採集せず、目録には含まれていないが、例外としてこれに含めた。

ここで絶滅危惧植物と呼んでいるのは、レッド・データブック記載種という広義の意味であり、レッドデータブックカテゴリー上の狭い意味の「絶滅危惧」（threatened）に該当する植物ということと混同しないように願います。カテゴリー記号は、それぞれ国、県のレッド・データブックによる。

掲載されたのは31種類であるが、これが金沢市における調査対象地域に分布する絶滅危惧種のすべてとはいえない。前述の通り、目録中の絶滅危惧植物を抜き出したものに過ぎないからである。また、国、県のレッド・データブックの対象は野生植物であるから、半野生や移入、帰化したものやその疑いのあるものは除外してある。たとえば、ユキヤナギやヒュウガミズキがそれである。金沢市の絶滅危惧植物調査、またはレッド・データブックの作成は望ましいことであるが、まだインベントリー調査が未完成の状態では、正確なものはできない。

表6 レッドデータブックカテゴリー記号

国レッドデータブック	記号	県レッドデータブック	記号
絶滅	E X	絶滅	E X
野生絶滅	E W	—	
絶滅危惧 A類	C R	絶滅危惧 類	
絶滅危惧 B類	E N		
絶滅危惧 類	V U	絶滅危惧 類	
準絶滅危惧	N T	準絶滅危惧	N T
情報不足	D D	情報不足	D D

5 - 3 金沢市において保全上、重要な植物

調査対象地域で生物の多様性保全の施策をおこなう観点から、調査対象地域において、保全上重要な植物のリストを作成し、「金沢市において保全上、重要な植物リスト」にまとめた。このリストに掲載した種類は115種類である。リストには前述の絶滅危惧種一覧表掲載の植物種を省いてあるので、保全施策の実施にあたっては、双方の関連を持たせて活用することがのぞましい。

選定理由は下記の通りである。

植物地理学上注目される。

個体数が少ないか、分布域が狭く、絶滅のおそれがある。

金沢市の丘陵、旧市街地の自然景観の構成種として重要である。

花材や山野草趣味等の対象として採取されやすい。

この4つの基準は医王山県立自然公園植物状況調査報告書（石川県地域植物研究会、1998）に準じたもので、リストの植物名の右側に付記した。

、 は今後、金沢市固有の絶滅危惧植物として、選定する場合の目安となるものである。注意を要するのは で、ここでいう自然景観とは単なる景色のことではなく、統合的なランドスケープのことで、生物多様性の保全をふくめて都市と近郊の自然環境保全上、保全すべき植物種である。ちなみに、生物の多様性にかんする条約は保全すべき対象として、生態系及び生育地、種および群集、社会的、科学的又は経済的に重要であり、かつ、記載がされたゲノムおよび遺伝子（付属書 ）としている。

に記された植物種を保全することは、生育地の保全・創出につながり、優れた自然景観の維持、自然景観に恵まれた望ましい都市環境の形成に役立つと思われる。

なお、アカモノは全国的には高山植物とされる植物で、従来、近郊の丘陵（例えば野田山や卯辰山）に分布して、注目されてきた（山岡、1953）。ところが、今回の調査により採集された植物には見当たらない。この理由は目下のところ不明であり調査を要するが、このリストには例外として記載した。金沢近郊の雑木林の自然景観を特徴づける重要な種類の一つである。

についてはいうまでもないが、かつて近郊の雑木林・原野に多く見られたササユリやスハマソウが、今日、ほとんど見当たらない原因の一つは、この採取にある。

6 評価

今回の調査は金沢市の丘陵・旧市街地について実施された、本格的なインベントリー調査としては最初の成果であり、特に一般市民と研究者・専門家、金沢市が協力して実施したことは大きく評価される。

しかし、調査対象地域は金沢市全体からは限られたもので、平野・海岸、山地は除外されている点で、まだ、中間的な成果にとどまるものであるといわざるをえない。また、栽培されている栽培植物が成果報告から除外されたが、その扱い方も未解決である。

7 結論と保全施策の策定・実施に関する留意点

7 - 1 結論

金沢市の旧市街地と丘陵を対象に、1998年度から2000年度の3年間で調査期間として、200の基準地域メッシュについてインベントリー調査をおこない、付表1に掲げる植物種814種類（栽培の状態にある栽培植物を除く）が分布していることが明らかとなった。同時に信頼できる分布データを、基準地域メッシュの精度で手に入れることができた。この成果にもとづいて、調査対象地域に分布する絶滅危惧植物（国、石川県）31種類を付表2に、保全上重要な植物のリスト115種類を付表3に掲げた。

814種類の分布データの具体的解析にはやや時間を要し、今後の課題となるものであるが、長い歴史（人間活動）を持つ旧市街と最近のほぼ半世紀の急激な都市化を経験した丘陵が、生物多様性の観点から見て、どのような対照的な植物相を持ち、かつ、その動態がどのようなものであるかが解明されることは、興味深い。これはまた、今後の金沢市の自然環境の保全や都市の緑に関する施策の立案・実施に根拠を与え、大きな展望をもたらすものである。

7 - 2 保全施策の策定・実施に関する留意点

この報告書の主な目的は今後の調査の報告であるが、それとの関連で金沢市の自然環境と緑に関する保全・創出の施策の策定・実施にかかわって、特に重要と思われる2, 3の点に触れておきたい。

ア．前述の通り、この報告書の執筆の時点では未だ調査の最終的な解析は完了していないが、植物（維管束植物）の植物種における生物多様性が、この半世紀の間に調査対象地域で著しく後退・劣化していることが推定できる。

金沢市には、「金沢市における緑のまちづくりの推進に関する条例」や「金沢市緑の基本計画」などがあるが、今後、これらについては、金沢市における生物多様性の保全方針をすみやかに確立し、これと結合させることが必要である。

「生物の多様性に関する条約」による我が国の国際的約束である「生物多様性国家戦略」は、当然、国のみならず地方公共団体をも義務づけるものである。生物多様性の保全・創出に関わる金沢市の総合的な基本方針・施策の確立は、未だ立ち遅れた状態にあり、前述の緑に関わる諸施策を実施する点でも問題を生じている。

イ．調査の過程で明白になった顕著な事実の一つに、40年前には調査対象地域で普通であった植物種が、著しく減少していることが挙げられる。たとえば、タブノキは旧市街ではかつてはごく普通の植物であったが、大きな葉を持つ地元産（この土地に自生する種内群）のタブノキは今日ほとんど見ることはできない。都市公園や街路樹の植栽に用いられているタブノキは多いが、そのほとんどは太平洋側の地域を原産地とする種苗によるもので、形態学的特長も葉が小さいなど、地元産のそれと顕著な相違がある。現在では、地元産のタブノキの個体数は、他地域産のそれより少なくなっている可能性が高く、近い将来、絶滅も危惧される。これは植栽に使われている植物種のほとんどにあてはまることで、実際に有効な対策を急ぐ必要がある。また、かつては普通であった野生種のオドリコソウが失われ、帰化植物のヒメオドリコソウと交代しているような現象も多く認められる。ミズバショウのような、もともと希少な植物種の保全が重要であることは論を待たないが、現実に緊急の対策が必要なのは、ここに挙げたような問題であって、人工緑化が量的に進むほど地元産の植物種や系統が失われていくという結果も起こりうるのである。

ここでは立ち入らないが、対策はいくらもありうるのであるから、要は施策の遂行にあたっての、生物多様性保全の視点の欠落にもとづくと言わねばならない。

ウ．「鎮守の森」のような自然植生に近い緑地の保全は、植物種の多様性を維持する上で、きわめて有効である。このための都市緑地を設け、ある割合の都市公園の部分や全体をこの目的に使用することは、保全よりも創出というべきであろうが、大いに有益であろう。

エ．市民ならびに各行政部門に対する、植物種をふくむ生物多様性に関する普及・教育はきわめて重要である。「生物の多様性に関する条約」や我が国の「生物多様性国家戦略」に関する普及活動は、金沢市が着手すべき第一の課題であろう。身近かな植物種に関する、また、今回の調査結果の大要をはじめとする金沢市や石川県の植物種の全体像に関する教育・学習は、各級（幼稚園・保育所から大学の教養教育まで）の学校や生涯学習の過程で取り上げられるべき、重要なテーマと思われる。

8 今後の課題

調査の遂行という観点から最も重要な課題は、今後も調査を継続して、金沢市全域のインベントリー調査を完成することである。栽培植物については、自然環境の保全・創出と生物多様性の保全の観点から、解明を進めることが重要である。

また、これを契機に金沢市の植物についての本格的なデータベースを構築し、この地域における環境情報と植物分布の関連や動態の解析を進めていくことは、緑と自然環境の保全・創出という目的にとって、特に都市と近郊における生物多様性の保全に関わって、極めて重要な課題である。

9 文 献

引用したもののほか、金沢市の植物調査（維管束植物）に関係の深い文献のうち、主なものを掲げた。ただし、フロラに関わるものは、過去との比較検討の観点から謄写印刷のものやパンフレットなどのようなものもあげてある。

(著者の ABC 順に配列)

- 秋山弘之・粕谷博之・北川尚史・木下栄一郎・清水建美.1993.金沢大学丸の内キャンパス（金沢城址）の植物．金沢大学大学教育開放センター紀要．13:71-106.金沢大学大学教育開放センター．
- 古池 博.1990.里山の群落学．自然人,13:6-8.
- 古池 博.1990.金沢城跡とその付随区域の巨樹．金沢大学理学部附属植物園年報,13:19-2
- 古池 博.1992.河岸段丘崖の植生．自然人,21:31-35.
- 古池 博.1995.金沢の緑とその保全 - 河岸段丘の植生を中心に - ．北経調季報,9(40):27-48. 北陸経済調査会．
- 古池 博.1996.金沢市の河岸段丘の植生とその保全．北経調季報,9(42):1-27.北陸経済調査会．
- 府玻昌明・福岡誠行・本多郁夫・大浦貞子.1962.医王山のフロラ．92pp.
- 濱野一郎・高木政喜.1998.金沢市周辺の空地や路傍に見られる植物群落の組成的研究 - 特に帰化植物について - ．石川植物の会会報,9:15-50.
- 本田雅人.1995.金沢野生植物分布図 自分で書き込む植物誌 第1集，
- 本田雅人.2001.金沢野生植物分布図 自分で書き込む植物誌 第2集．
- 池田良幸・米山競一・高島隆吉・高木政喜.1978.金沢地区における竹林の植物調査（中間報告）について．石川植物の会会報,9:9-10.
- 石川県地域植物研究会.1998.医王山県立自然公園植物状況調査報告書．70 pp.石川県環境安全全部自然保護課．
- 石川県植生誌編纂委員会.1997.石川県植生誌．230pp.石川県環境安全全部自然保護課．
- 石川県絶滅危惧植物調査会.2000.石川県の絶滅のおそれのある野生生物 石川レッドデータブック〈植物編〉．358pp.+正誤表.石川県環境安全全部自然保護課．
- 石川県環境部（編）.1981.都市河川自然度調査報告書 都市の自然環境を考える - 植生．古池博・里見信生 担当），21-64.
- 石川県環境部（編）.1982.犀川・浅野川の自然 - （古池博・里見信生 担当）. 18-21.
- 石川県環境部.1982.夕日寺県民自然園自然環境報告書、植生．（濱野一郎 担当）.
- 石川植物の会（編）.1983.石川県植物誌．227pp.石川県．
- 石川県植生誌編纂委員会.1997.石川県植生誌．230pp.石川県環境安全全部自然保護課．
- 石川県地域植物研究会.1985-2001.調査要領．
- 石川県地域植物研究会（編）1994.石川県樹木分布図集．489pp.+環境要因分布図 10．石川県林業試験場．

- 石川県地域植物研究会(編).2001.第18回全国都市緑化フェア都市緑地解説員<緑のインストラクター>の手引き.39pp.
- 石川の植栽樹種検討委員会(編).2001.石川県の植栽樹種100選.141pp.(社)石川の森づくり推進協会.
- 石川県絶滅危惧植物調査会.2000.石川県の絶滅のおそれのある野生生物 石川レッドデータブック<植物編>.358pp.+正誤表.石川県環境安全部自然保護課.
- 石川県林業史編さん委員会.1997.石川県林業史.881pp.石川県山林協会.
- 石川幹子.2001.都市と緑地.358pp.+参考文献13pp.岩波書店.
- 金沢市建設部緑と花の課.1998.金沢市緑の基本計画.177pp.
- 金沢市環境部環境保全課.1998.メッシュ地形図(金沢市植物調査事業用).8pp.
- 金沢市自然史研究会.1992.自然環境・野生生物保全地区選定基礎調査報告書.23pp.+図幅2.
- 金沢大学理学部.1984.金沢大学移転地(角間)の調査報告書 植生.84pp.+付図.金沢大学理学部.
- 金沢大学総合移転特別委員会・理学部附属植物園.1996.金沢大学総合移転第一期計画地内植物調査報告.43pp.+付図1.金沢大学総合移転特別委員会.理学部附属植物園.
- 金沢みどりの調査会.1998.金沢みどりの調査 植物調査の手引き(マニュアル)地域調査用第1版.8pp.金沢みどりの調査会.
- 金沢みどりの調査会.1998.金沢みどりの調査 標本整理の手引き(マニュアル)専門部会用第1版.5pp.金沢みどりの調査会.
- 金沢みどりの調査会.1998-2001.ニュースレター「金沢のみどり」,1:1-4:3.
- 環境庁.1992.第4回緑の国勢調査,身近な生き物調査結果.
- 環境庁自然保護局.1994.植物目録修正版.(上)分類系順,(下)和名50音順.230pp.235pp.
- 環境庁自然保護局計画課自然環境調査室.1997.都道府県別メッシュマップ17 石川県.77pp.+解説.(財)自然環境研究センター.
- 環境庁自然保護局野生生物課.2000.改訂・日本のおそれのある野生生物-レッドデータブック-8 植物.660pp.(財)自然環境研究センター.
- 紘野義夫.1993.石川県地質誌 新版・石川県地質図(縮尺 10万分の1).321pp.+図幅4+同解説書.石川県・北陸地質研究所.
- 木下栄一郎.1994.金沢城址の植物、自然人,27:36-37.
- 国立天文台.1925-2001.理科年表.丸善.
- 国土交通省土地水水源局国土調査課.2001.土地環境モデル事業報告書.237pp.
- 国土庁土地局.1999.土地環境モデル事業金沢地区モデル調査成果図.図幅11種.
- 正宗巖敬.1952.ラウンキエルの生活型より見た金沢大学内尾山の植相.北陸の植物,1:23-26.
- 松田正三.1956.郷土の植物研究(第1報).5pp.
- 松田正三.1962.金沢市植物誌 山地を主とした-.66pp.

- 中西由美子・清水建美.1991.フロラおよび植生からみた金沢市小立野台の健康診断．金沢大学理学部附属植物園年報,14:27-38.
- 日本地図センター.1997.地図で見る金沢の変遷．図幅5 + 解説書 21pp.(財)日本地図センター．
- 野村外喜子・堀駿子.1990.金沢市街地の都市林．「石川の生物」(石川の生物編集委員会編), 236-239.石川県高等学校教育研究会生物部会．
- P.Trehane et al.(ed.).1995.International code of nomenclature for cultivated plants-1995.Quarterjack publishing,Wimborne,UK.
- 斎藤晃吉 1975.経済の発展と林野利用の変化 - 石川県を例として - .「石川県の植生」(里見信生 編), 1-25.石川県林業試験場．
- 品川正法.1961.金沢市卯辰山のフロラ．32pp.+追加・索引 4pp.
- 下沢伊八郎.1952.金沢市内自生シダ目録．北陸の植物, 1:7-8.
- 高木政喜 2001.緑の回廊.自然人, 57:25-27.
- 田中喜男.1979.わが町の歴史 金沢.261pp.+巻末付録．文一総合出版．
- 土地総合研究所.1998.平成9年度土地環境モデル事業金沢地区業務報告書．659pp.
- 寺下友三郎.1950.金沢大学尾山城址植物目録．
- 我が国における保護上重要な植物種および植物群落研究委員会植物群落部会.1996.植物群落レッドデータブック．(財)日本自然保護協会・(財)世界自然保護基金日本委員会．アポック出版局．
- W.Greuter et al.(ed.).2000.International code of botanical nomenclature(Saint Louis code).474pp.Koeltz scientific book.
- 和久田昌則.1990.石川県の社叢林．「石川の生物」(石川の生物編集委員会編), 97-100.石川県高等学校教育研究会生物部会．
- 山岡正尾.1945.兼六園植物志．
- 山岡正尾.1952.ダンドボロギクの分布(富山県及び金沢市内)について．北陸の植物, 1:17.
- 山岡正尾.1953.低地のアカモノ(金沢付近の植物雑記)．北陸の植物, 2:32.
- 谷内徹行・村上喬・依田浩二.1966.医王山の植物地理学的研究．
- 米山競一.1976.金沢市南部山麓のシダ．石川植物の会会報, 7:22-24.
- 米山競一 2001.金沢城址の植物.自然人, 57:28-30.

10 名 簿

1 役員

金沢みどりの調査会で、この調査期間に任期は同一ではないが、役員をつとめた人は次の通りである。

会長： 古池 博
副会長： 濱野 一郎
 林 二良
会計： 野村外喜子

幹事：米山競一、本多郁夫、高木政喜、小野ふみゑ、中田眞砂、中野真理子、西沢徹、戸崎弥生、藤掛貴由、池上宙志、平野一女、飯田博、角恵子、菅野不二子、北出慶央、北出まつ子、新明法子、中村正成、野村輝子、野村義範、高野弘、松崎和枝、柳生敦志

監事 中田 眞砂、俵京子

2 名簿およびID番号

この調査に何らかのかたちで参加したことのある人の名簿は、別表の通りである。現在、転居などの理由で、退会された場合もこの名簿には記載されている。

活動の参加の様態は、事情により様々であり、数千件の標本・データを提供された活動的な方もあれば、事実上説明会への参加に終わった人もある。しかし、金沢の植物調査事業に自主的に参加されたことに対して、これらすべての方がたに敬意を表する次第である。

氏名の左端に記されているのは、現地調査の際に作成される原票の所定の個所に記入される採集者番号で、今後、永久に変更されることなく保存される。氏名の変更があった場合に、新規に登録すれば新しいIDが付与されるが、この申出がない場合には、本会の標本・データの扱いは旧氏名のままである。また、新しいIDが付与された場合でも、氏名の変更は過去には遡らない。要するにデータベース上では、IDが異なる場合は別人として扱われ、逆に同じIDであれば同一の人として扱われる。

名簿・ID一覧表

ID	氏名	ID	氏名	ID	氏名
001	古池 博	129	直野 和代	177	原 雪乃
002	濱野 一郎	130	山本 勝治	178	黒梅 博子
003	本多 郁夫	136	本田 雅人	179	越澤 みち子
004	中野 真理子	137	山田 祐将	180	山本 富美代
005	中田 真砂	138	山守 次郎	181	丸岡 淳二
006	野村 外喜子	139	波瀬 春菜	182	丸岡 樹代子
007	小野 ふみゑ	140	中村 有希	183	谷野 喜代子
008	高木 政喜	141	林 二良	184	廣島 博子
009	米山 競一	142	手井 修三	185	重山 長徳
010	西澤 徹	143	河崎 晴夫	186	重山 八千代
011	池上 宙志	144	河崎 悦子	187	重山 祐香
012	戸崎 弥生	146	中下 麻友美	188	原田 信子
013	藤掛 貴由	148	西坂 美香	189	田崎 吉紀
014	白井 伸和	149	斉藤 正彦	190	上野 正明
101	飯田 博	150	渡辺 寛	191	荒木 松子
102	炭谷 良人	151	俵 京子	192	西岡 登
103	松本 洋子	152	杉浦 幸子	193	渡邊 由紀
104	松浦 隆子	153	野小 延	194	明石 尚子
105	伊藤 巖	154	高野 弘	195	小座間 嘉恵
106	伊藤 桂子	155	渡辺 直騷	196	管野 不二子
107	平野 一女	156	竹口 雅大	197	北出 まつ子
108	松崎 和枝	157	田谷 友博	198	北出 慶央
109	荒木 勝	158	北野 嗣門	199	松澤 早苗
110	新明 法子	159	西 要子	201	田中 敏行
111	二木 圭江	160	中田 外喜男	202	中村 孝雄
112	本田 和子	161	中田 和美	203	浅永 莉佳
113	寺中 隆子	162	松島 浩	204	柴山 貴子
114	瀬戸 純代	163	角 恵子	205	野村 輝子
116	徳田 良子	164	中村 正成	206	作田 春海
117	吉田 俊子	165	寺井 郁子	207	空欄
118	小西 テツ子	166	黒田 諒	208	空欄
119	舘 千恵子	167	舟木 健	209	柳生 敦志
120	舘 英子	168	松永 薫	210	児玉 悠紀子
121	山田 修子	169	島 孝佑	211	大家 健治
122	山下 静江	171	浅野 正哉	212	北 巖
123	野小 和枝	172	宮野 理恵	213	鷺田 哲夫
124	山下 容子	173	野村 義範	214	根上 順子
125	山本 節子	174	池田 洋一		
126	道端 美津枝	175	宮下 昌子		
127	椿下 佳子	176	家 正子		

11 謝 辞

この調査は前述の通り、1998年度～2000年度の3年間を調査期間とし、金沢市環境保全課の所管の委託事業として、各年度に本会が受託して実施された。それに先行する1996年度、1997年度の2年間は、事実上その準備期間で、環境保全課と地域の植物調査（インベントリー調査）に経験を有する関係者の間でさまざまな模索・協議・検討がおこなわれた。

この事業の成果は、100名を超える会員の方がたの驚くべき献身的な努力と真摯な探求心の賜物であって、すべての会員の方々に敬意と深い謝意を表す。

金沢市環境部環境保全課の各位におかれては、この調査事業の発足と進捗に職務の範囲を超えて努力され、協力された点が少なくない。関係者の方々に心から謝意を表す。

また、金沢市建設部緑と花の課は所管の都市公園などでの、現地調査・標本採集について許可され、調査への便宜を与えられた。記して謝意を表す。

さらに、本会の調査にさいして、各地で暖かな協力と便宜を与えられた多くの市民の方がたにも、心から御礼申し上げる次第である。もし、市民の協力がなければ、この調査事業は困難に直面してこのような成果を収めることは困難であったと思われる。

金沢市植物目録（丘陵および市街地）

学 名	和 名	コード
PTERIDOPHYTA シダ植物		
Lycopodiaceae ヒカゲノカスラ科		
Lycopodium clavatum L.	ヒカゲノカスラ	00080
Lycopodium serratum Thunb.	トウゲシバ	00210
Selaginellaceae イノハ科		
Selaginella remotifolia Spring	クマコケ	00360
Equisetaceae トウモロコシ科		
Equisetum arvense L.	スギナ	00460
Ophioglossaceae ハナハシ科		
Botrychium japonicum (Prantel) Underw.	オハハシ	00580
Botrychium ternatum (Thunb.) Sw.	フコハナハシ	00690
Osmundaceae センマイ科		
Osmunda japonica Thunb.	センマイ	00900
Plagiogyriaceae キジノオダ科		
Plagiogyria euphlebica (Kunze) Mett.	オキジノオ	00930
Plagiogyria japonica Nakai	キジノオダ	00940
Gleicheniaceae ウラボシ科		
Gleichenia japonica Spr.	ウラボシ	01050
Schizaeaceae フサコケ科		
Lygodium japonicum (Thunb.) Sw.	カニクサ	01070
Hymenophyllaceae コケシロ科		
Lacosteopsis orientalis (C. Chr.) Nakaike var. abbreviata (Christ) Nakaike	ヒメハシロコケ	01280
Dennstaedtiaceae コハノイシカクマ科		
Dennstaedtia hirsuta (Sw.) Mett. ex Miq.	イヌシダ	01630
Dennstaedtia scabra (Wall. ex Hook.) Moore	コハノイシカクマ	01650
Hypolepis punctata (Thunb.) Mett. ex Kuhn	イノヒメワラビ	01690
Microlepia marginata (Panzer) C. Chr.	フモトシダ	01730
Pteridium aquilinum (L.) Kuhn var. latiusculum (Desv.) Und. ex Halle	ワラビ	01830
Lindsaeaceae ねづけシダ科		
Sphenomeris chinensis (L.) Maxon	ホラシダ	02000
Parkeriaceae ミスワラビ科		
Adiantum pedatum L.	クシヤクシダ	02180
Ceratopteris thalictroides (L.) Brongn.	ミスワラビ	02190
Coniogramme × fauriei Hieron.	イヌワカネソウ	02250
Coniogramme intermedia Hieron.	ワカネソウ	02270
Coniogramme japonica (Thunb.) Diels	ワカネソウ	02300
Pteridaceae イノトソウ科		
Pteris cretica L.	オハノイノトソウ	02490
Pteris multifida Poir.	イノトソウ	02630
Aspleniaceae チャセンシダ科		
Asplenium incisum Thunb.	トラノオシダ	02910
Asplenium scolopendrium L.	コタニワタリ	03140
Asplenium trichomanes L.	チャセンシダ	03190
Blechnaceae シシガシラ科		
Struthiopteris niponica (Kunze) Nakai	シシガシラ	03340
Woodwardia orientalis Sw.	コモシダ	03410
Dryopteridaceae オシダ科		
Arachniodes standishii (Moore) Ohwi	リョウメンシダ	03760
Cyrtomium fortunei J. Sm. var. fortunei	ヤブソテツ	
Cyrtomium fortunei J. Sm. var. clivicola (Makino) Tagawa	ヤマヤブソテツ	03910

学 名	和 名	コード
Dryopteris bissetiana (Bak.) C. Chr.	ヤマイタチシダ	
Dryopteris dickinsii (Fr. et Sav.) C. Chr.	オオクシ ヲクシダ	04060
Dryopteris erythrosora (Eat.) O. Kuntze	ヘニシダ	04070
Dryopteris hondoensis Koidz.	オオヘニシダ	04270
Dryopteris kinokuniensis Kurata	キノクニヘニシダ	04330
Dryopteris lacera (Thunb.) O. Kuntze	クマワラビ	04350
Dryopteris nipponensis Koidz.	トウコクシダ	
Dryopteris pacifica (Nakai) Tagawa	オオイタチシダ	
Dryopteris uniformis (Makino) Makino	オカマワラビ	04700
Polystichum × anceps Kurata	トウリヨウイナテ	04870
Polystichum fibrilloso-paleaceum (Kodama) Tagawa	アスカイナテ	04920
Polystichum × hokurikuense Kurata	ホクリクイナテ	05000
Polystichum longifrons Kurata	アイアスカイナテ	05160
Polystichum polyblepharum (Roem.ex Kunze) Pr.	イナテ	05350
Polystichum retroso-paleaceum (Kodama) Tagawa	サカゲイナテ	05380
Polystichum tripterum (Kunze) Pr.	ジユウモンジシダ	05460
Thelypteridaceae ヒメシダ科		
Phegopteris decursive-pinnata (van Hall) Fée	ゲシゲシシダ	05770
Stegnogramma pozoi (Lagasca) K. Iwats. ssp. mollissima (Fischer ex Kunze) K. Iwats.	ミゾシダ	05870
Thelypteris laxa (Fr. et Sav.) Ching	ヤワラシダ	06050
Thelypteris palustris (Sallisb.) Schott.	ヒメシダ	06090
Thelypteris torresiana (Gaud.) Alston var. calvata (Bak.) K. Iwats.	ヒメワラビ	06110
Thelypteris viridifrons Tagawa	ミドリヒメワラビ	06130
Athyriaceae メシダ科		
Athyrium deltoideofrons Makino	サトメシダ	06270
Athyrium iseanum Rosenst.	ホソバイヌワラビ	06380
Athyrium niponicum (Mett.) Hance	イヌワラビ	06580
Athyrium vidalii (Fr. et Sav.) Nakai	ヤマイヌワラビ	06880
Athyrium yokoscense (Fr. et Sav.) Christ	ヘビノネゴザ	06990
Cornopteris decurrenti-alata (Hook.) Nakai	シケチシダ	07020
Deparia dimorphophylla (Koidz.) M.Kato	セイトカシケシダ	07150
Deparia japonica (Thunb.) M.Kato	シケシダ	07160
Deparia okuboana (Makino)	オオヒメワラビ	07220
Matteuccia orientalis (Hook.) Trev.	イヌカソク	07820
Matteuccia struthiopteris (L.) Todaro	クサソテツ	07830
Onoclea sensibilis L. var. interrupta Maxim	コウヤワラビ	07850
Polypodiaceae ウラボシ科		
Lepisorus thunbergianus (Kaulf.) Ching	ノキシロ	08250
Polypodium fauriei Christ	オシヤクシテンダ	08470

SPERMATOPHYTA 種子植物

GYMNOSPERMAE 裸子植物

Ginkgoaceae 仔葉科

Ginkgo biloba L. 仔葉 08725

Pinaceae マツ科

Abies firma Sieb. et Zucc. モミ 08730

Larix kaempferi (Lamb.) Carriere カラマツ 08850

Pinus × densi-thunbergii Yueki アカクロマツ, アイグロマツ 08990

Pinus densiflora Sieb. et Zucc. アカマツ, メマツ 09000

Pinus thunbergii Parl. クロマツ, オマツ 09100

Taxodiaceae スギ科

学名	和名	コード
<i>Cryptomeria japonica</i> (L. fil.) D. Don	スギ	09140
Cupressaceae ヒノキ科		
<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. et Zucc.) Endl.	ヒノキ	09160
<i>Chamaecyparis pisifera</i> (Sieb. et Zucc.) Endl.	サウラ	09170
<i>Juniperus chinensis</i> L.	イブキ	09180
<i>Juniperus rigida</i> Sieb. et Zucc.	ネズミノコ	09230
<i>Thujopsis dolabrata</i> Sieb. et Zucc. var. <i>hondae</i> Makino	ヒノキアスナロ	09320
Podocarpaceae マキ科		
<i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) Lamb. var. <i>macrophyllus</i>	イヌマキ	
<i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) Lamb. var. <i>maki</i> Sieb.	ラカンマキ	09340
Cephalotaxaceae イガガヤ科		
<i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight) K. Koch var. <i>nana</i> (Nakai) Rehd.	ハイイガガヤ	09370
Taxaceae イチイ科		
<i>Taxus cuspidata</i> Sieb. et Zucc. var. <i>cuspidata</i>	イチイ	
<i>Taxus cuspidata</i> Sieb. et Zucc. var. <i>nana</i> Hort. ex Rehd.	キヤホク	09400
<i>Torreya nucifera</i> (L.) Sieb. et Zucc. var. <i>radicans</i> Nakai	チャホガヤ	09420

ANGIOSPERMAE 被子植物

DICOTYLEDONEAE 双子葉植物

CHOLIPETALAE 離弁花類

Juglandaceae クルミ科		
<i>Juglans ailanthifolia</i> Carr.	オニグルミ	09460
<i>Pterocarya rhoifolia</i> Sieb. et Zucc.	サウグルミ	09480
Salicaceae ヤナギ科		
<i>Populus sieboldii</i> Miq.	ヤマナラシ	09540
<i>Salix futura</i> Seemen	オオネコヤナギ	09800
<i>Salix gilgiana</i> Seemen	カワヤナギ	09830
<i>Salix gracilistyla</i> Miq.	ネコヤナギ	09860
<i>Salix integra</i> Thunb.	イヌコリヤナギ	10070
<i>Salix subfragilis</i> Anders.	タチヤナギ	10780
Betulaceae カシノ科		
<i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud.	ハンノキ	11170
<i>Alnus sieboldiana</i> Matsum.	オオハヤシバノシ	11260
<i>Carpinus japonica</i> Blume var. <i>japonica</i>	クマシテ	
<i>Carpinus japonica</i> Blume var. <i>cordifolia</i> Winkl.	オオクマシテ	11570
<i>Carpinus laxiflora</i> (Sieb. et Zucc.) Blume	アカシテ	11580
<i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim.	イヌシテ	11590
<i>Corylus sieboldiana</i> Blume	ツノシバノミ	11640
Fagaceae ブナ科		
<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ	11700
<i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb.) Schottky var. <i>sieboldii</i> (Makino) Nakai	スタシイ	11750
<i>Quercus acuta</i> Thunb.	アカガシ	11820
<i>Quercus acutissima</i> Carruth.	クヌキ	11840
<i>Quercus dentata</i> Thunb.	カシワ	11890

学 名	和 名	コード
<i>Quercus crispula</i> Blume	ミズナラ	
<i>Quercus phillyraeoides</i> A. Gray	ウバメガシ	12040
<i>Quercus salicina</i> Blume	ウラジロガシ	12060
<i>Quercus serrata</i> Thunb. ex Murray	コナラ, ハハソ	12080
<i>Quercus variabilis</i> Blume	アヘマキ	12170
Ulmaceae ニレ科		
<i>Celtis jessoensis</i> Koidz.	エゾエノキ	12200
<i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai	エノキ	12230
<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino	ケヤキ	12370
Moraceae クワ科		
<i>Broussonetia kazinoki</i> Sieb.	ヒメコウゾ	12400
<i>Fatoua villosa</i> (Thunb.) Nakai	クワクサ	12420
<i>Ficus oxyphylla</i> Miq.	イタヒカスラ	12530
<i>Humulus japonicus</i> Sieb. et Zucc.	カナムグラ	12600
<i>Morus australis</i> Poir.	ヤマグワ, シマグワ	12630
Urticaceae イラクサ科		
<i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich. ssp. <i>nipponivea</i> (Koidz.) Kitam.	カラムシ	12840
<i>Boehmeria platanifolia</i> Franch. et Savat.	メヤブモ	12850
<i>Boehmeria sylvestris</i> (Pamp.) Wot. Wang	アカソ	12900
<i>Elatostema umbellatum</i> Blume var. <i>majus</i> Maxim.	ウバミソウ	13020
<i>Laportea bulbifera</i> (Sieb. et Zucc.) Wedd.	ムカゴイラクサ	13070
<i>Pilea hamaoi</i> Makino	ミス	13230
<i>Pilea pumila</i> (L.) A. Gray	アオミス	13280
Santalaceae ヒヤクダン科		
<i>Buckleya lanceolata</i> (Sieb. et Zucc.) Miq.	ツクハネ	13420
Polygonaceae タデ科		
<i>Antenoron filiforme</i> (Thunb.) Roberty et Vautier	ミスヒキ	13640
<i>Persicaria conspicua</i> (Nakai) Nakai	サクラタデ	13830
<i>Persicaria lapathifolia</i> (L.) S. F. Gray	オオイヌタデ	13980
<i>Persicaria longiseta</i> (De Bruyn) Kitagawa	イヌタデ	13990
<i>Persicaria nipponensis</i> (Makino) H. Gross	ヤノネグサ	14050
<i>Persicaria perfoliata</i> (L.) H. Gross	イシミカリ	14060
<i>Persicaria posumbu</i> (D. Don.) H. Gross var. <i>laxiflora</i> (Meisn.) Hara	ハナタデ	14070
<i>Persicaria pubescens</i> (Blume) Hara	ホントクダテ	14100
<i>Persicaria scabra</i> (Moench) Mold.	サナエタデ	14120
<i>Persicaria senticosa</i> (Franch. et Sav.) H. Gross	ママコノシリヌグイ, トゲソバ	14130
<i>Persicaria sieboldii</i> (Meisn.) Ohki	アキノナギツカミ	14140
<i>Persicaria thunbergii</i> (Sieb. et Zucc.) H. Gross	ミゾソバ	14170
<i>Persicaria vulgaris</i> Webb. et Moq.	ハルタデ	14220
<i>Polygonum aviculare</i> L.	ミチヤナギ	14260
<i>Polygonum orientale</i> L.	オオクダテ	14276
<i>Reynoutria japonica</i> Houtt.	イタドリ	14320
<i>Rumex acetosa</i> L.	スイバ	14370
<i>Rumex acetosella</i> L.	ヒメスイバ	14380
<i>Rumex japonicus</i> Houtt.	ギンギン	14440
<i>Rumex obtusifolius</i> L.	エゾノギンギン	14510
Phytolaccaceae ヤマコホウ科		
<i>Phytolacca americana</i> L.	ヨウシュヤマコホウ	14520
Portulacaceae スベリヒコ科		
<i>Portulaca oleracea</i> L.	スベリヒコ	14600
Caryophyllaceae ナデシコ科		
<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	オランダミミナグサ	14710
<i>Cerastium holosteoides</i> Fries var. <i>angustifolium</i> (Franch.) Mizushima	ミミナグサ	14730

学 名	和 名	コード
<i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi	ツメクサ	15130
<i>Silene armeria</i> L.	ムシトリナデシコ	15200
<i>Stellaria alsine</i> Grimm	ミノフス	15410
var. <i>undulata</i> (Thunb.) Ohwi		
<i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.	ウシハコハ	15420
<i>Stellaria diversiflora</i> Maxim.	サウハコハ, ツルハコハ	15450
<i>Stellaria media</i> (L.) Villars	コハコハ	15530
<i>Stellaria neglecta</i> Weihe	ミトリハコハ	15550
<i>Stellaria sessiliflora</i> Yabe	ミヤマハコハ	15610
Chenopodiaceae アカギ科		
<i>Chenopodium album</i> L.	シロザ, シロアカガ	15680
<i>Chenopodium ambrosioides</i> L.	ケアリタソウ	15700
Amaranthaceae ヒヨドリ科		
<i>Achyranthes bidentata</i> Blume	ヒカゲイノコスチ, イノコスチ	15920
var. <i>japonica</i> Miq.		
<i>Achyranthes bidentata</i> Blume	ヒナタイノコスチ	15930
var. <i>tomentosa</i> (Honda) Hara		
Magnoliaceae モクレン科		
<i>Liriodendron tulipifera</i> L.	ユリノキ	
<i>Magnolia hypoleuca</i> Sieb. et Zucc.	ホオノキ	16170
<i>Magnolia praecocissima</i> Koidz.	コブシ	
var. <i>praecocissima</i>		
<i>Magnolia praecocissima</i> Koidz.	キタコブシ	16200
var. <i>borealis</i> Sarg.		
<i>Magnolia salicifolia</i> (Sieb. et Zucc.) Maxim.	タムシバ	16230
Lauraceae クスノキ科		
<i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Sieb.	クスノキ	16450
<i>Lindera obtusiloba</i> Blume	ダクコウバノイ	16600
<i>Lindera umbellata</i> Thunb.	オオバクモシ	16670
ssp. <i>membranacea</i> (Maxim.) Kitam.		
<i>Machilus thunbergii</i> Sieb. et Zucc.	タフノキ, イヌクス	16720
<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.	シロダモ	16790
Ranunculaceae キンポウゲ科		
<i>Anemone flaccida</i> Fr. Schm.	ニリンソウ	17460
<i>Anemone pseudo-altaica</i> Hara	キクザキイチゲ	17560
<i>Clematis apiifolia</i> DC.	ホトツグ	17800
<i>Clematis terniflora</i> DC.	センニンソウ	18050
<i>Clematis tosaensis</i> Makino	トリガタハンショウヅル	18070
<i>Coptis japonica</i> (Thunb.) Makino	オウレン, キクハオウレン	
var. <i>japonica</i>		
<i>Coptis japonica</i> (Thunb.) Makino	セリハオウレン	18120
var. <i>dissecta</i> (Yatabe) Nakai		
<i>Dichocarpum nipponicum</i> (Franch.) W. T. Wang et Hsiao	アスマシロカネソウ	18220
<i>Ranunculus cantoniensis</i> DC.	ケキツネノホト	18320
<i>Ranunculus japonicus</i> Thunb.	ウマノアシガタ, キンポウゲ	18420
<i>Ranunculus silerifolius</i> Lévl.	キツネノホト	18560
<i>Thalictrum minus</i> L.	アキカラマツ	18740
var. <i>hypoleucum</i> (Sieb. et Zucc.) Miq.		
Berberidaceae 独活科		
<i>Berberis thunbergii</i> DC.	メギ	18970
<i>Epimedium sempervirens</i> Nakai	トキワイカリソウ, オイカリソウ	19130
<i>Nandina domestica</i> Thunb.	ナンテン	19170
Lardizabalaceae アケビ科		
<i>Akebia pentaphylla</i> Makino	ゴヨウアケビ	19190
<i>Akebia quinata</i> (Thunb.) Decaisne	アケビ	19210
<i>Akebia trifoliata</i> (Thunb.) Koidz.	ミツバアケビ	19220
<i>Stauntonia hexaphylla</i> (Thunb.) Decaisne	ムハ	19230
Menispermaceae ツツミ科		

学 名	和 名	コード
<i>Cocculus orbiculatus</i> (L.) Forman	アオツヅラフジ	19260
<i>Menispermum dauricum</i> DC.	コウモリカズラ	19290
Saururaceae トクダミ科		
<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.	トクダミ	19510
<i>Saururus chinensis</i> (Lour.) Baill.	ハンゲショウ, カタシロクサ	19520
Chloranthaceae センリョウ科		
<i>Chloranthus serratus</i> (Thunb.) Roem. et Schult.	フタリシズカ	19620
Aristolochiaceae ウマノスズクサ科		
<i>Heterotropa takaoi</i> F. Maekawa	ヒメカンアオイ	20260
Actinidiaceae マタヒキ科		
<i>Actinidia arguta</i> (Sieb. et Zucc.) Planch.	サルナシ, シラクチヅル	20390
<i>Actinidia polygama</i> (Sieb. et Zucc.) Planch. et Maxim.	マタヒキ	20430
Theaceae ツバキ科		
<i>Camellia japonica</i> L. var. <i>japonica</i>	ヤブツバキ	
<i>Camellia japonica</i> L. var. <i>intermedia</i> Tuyama	ユキハタツバキ	20540
<i>Camellia sasanqua</i> Thunb.	サザンカ	20570
<i>Cleyera japonica</i> Thunb.	サカキ	20580
<i>Eurya japonica</i> Thunb.	ヒサカキ	20630
<i>Stewartia pseudo-camellia</i> Maxim.	ナツツバキ	20740
<i>Thea sinensis</i> L.	チャノキ	20800
Guttiferae 朴ギリソウ科		
<i>Hypericum erectum</i> Thunb.	オトギリソウ	20880
<i>Hypericum laxum</i> (Blume) Koidz.	コケオトギリ	21020
<i>Hypericum pseudopetiolatum</i> R. Keller	サワオトギリ	21070
Droseraceae モウセンゴケ科		
<i>Drosera rotundifolia</i> L.	モウセンゴケ	21260
Papaveraceae ケシ科		
<i>Corydalis capillipes</i> Franch.	ミチノケインゴサク, ヒメマインゴサク	21300
<i>Corydalis decumbens</i> (Thunb.) Pers.	ジロホウケインゴサク	21320
<i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.	ムラサキケマン	21380
<i>Corydalis lineariloba</i> Sieb. et Zucc. var. <i>capillaris</i> (Makino) Ohwi	ヒメインゴサク	21410
<i>Corydalis lineariloba</i> Sieb. et Zucc. var. <i>papilligera</i> (Ohwi) Ohwi	キンケインゴサク	21420
<i>Corydalis pallida</i> (Thunb.) Pers. var. <i>tenuis</i> Yatabe	ミヤマキケマン	21470
Cruciferae アブラナ科		
<i>Arabidopsis thaliana</i> (L.) Heynh.	シロイヌナスタ	21620
<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medic.	ナスタ	21830
<i>Cardamine dentipetala</i> Matsum.	オホタネツケバナ	21880
<i>Cardamine flexuosa</i> With.	タネツケバナ	21890
<i>Cardamine scutata</i> Thunb.	ヤマタネツケバナ, オホバナタネツケバナ	22000
<i>Eutrema japonica</i> (Miq.) Koidz.	ワサビ	22230
<i>Lepidium virginicum</i> L.	マメゴンバナス	22300
<i>Rorippa indica</i> (L.) Hochr.	イヌガラシ	22380
<i>Rorippa islandica</i> (Oeder) Borlbas	スカシタゴホウ	22390
Hamamelidaceae マンサク科		
<i>Corylopsis pauciflora</i> Sieb. et Zucc.	ヒユウガミズキ, 白ミズキ	22510
<i>Hamamelis japonica</i> Sieb. et Zucc. var. <i>obtusata</i> Matsum.	マルバマンサク	22610
Crassulaceae アンケイソウ科		
<i>Sedum aizoon</i> L. var. <i>floribundum</i> Nakai	キリンソウ	22900
<i>Sedum bulbiferum</i> Makino	ゴモチマンネンクサ	22920
<i>Sedum japonicum</i> Sieb. ex Miq.	メノマンネンクサ	22960
<i>Sedum sarmentosum</i> Bunge	ツルマンネンクサ	23050

学 名	和 名	コード
Saxifragaceae 土筆科		
<i>Astilbe thunbergii</i> (Sieb. et Zucc.) Miq.	アキショウマ	23250
<i>Astilbe thunbergii</i> (Sieb. et Zucc.) Miq. var. <i>congesta</i> H. Boiss.	トリアシショウマ	23270
<i>Chrysosplenium fauriei</i> Franch.	ホクリクネコノメソウ	23450
<i>Chrysosplenium grayanum</i> Maxim.	ネコノメソウ, ミズネコノメソウ	23480
<i>Chrysosplenium japonicum</i> (Maxim.) Makino	ヤマネコノメソウ	23490
<i>Deutzia crenata</i> Sieb. et Zucc.	ウツギ	23690
<i>Deutzia gracilis</i> Sieb. et Zucc.	ヒメウツギ	23730
<i>Hydrangea hirta</i> (Thunb.) Sieb.	コアジサイ	23890
<i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb.) Ser. var. <i>acuminata</i> (Sieb. et Zucc.) Makino	ヤマアジサイ, サワアジサイ	23980
<i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb.) Ser. var. <i>megacarpa</i> Ohwi	エゾアジサイ, ムツアジサイ	24010
<i>Hydrangea petiolaris</i> Sieb. et Zucc.	ゴトウヅル, ツルアジサイ	24080
<i>Mitella pauciflora</i> Rosend.	コチャルメルソウ	24280
<i>Saxifraga nipponica</i> Makino	ハルコキソウ	24780
<i>Saxifraga stolonifera</i> Meerb.	ユキソウ	24840
<i>Schizophragma hydrangeoides</i> Sieb. et Zucc.	イワガラム	24880
Pittosporaceae トハシ科		
<i>Pittosporum tobira</i> (Thunb.) Ait.	トハシ	24990
Rosaceae ハナ科		
<i>Agrimonia japonica</i> (Miq.) Koidz.	キンミズヒキ	25010
<i>Agrimonia nipponica</i> Koidz.	ヒメキンミズヒキ	25020
<i>Amelanchier asiatica</i> (Sieb. et Zucc.) Endl.	ザイフリホク	25040
<i>Aruncus dioicus</i> (Walt.) Fernald var. <i>tenuifolius</i> (Nakai) Hara	ヤマブキショウマ	25080
<i>Duchesnea chrysantha</i> (Zoll. et Mor.) Miq.	ヘビイチゴ	25140
<i>Duchesnea indica</i> (Andr.) Focke	ヤブヘビイチゴ	25150
<i>Geum japonicum</i> Thunb.	ダクソウ	25350
<i>Kerria japonica</i> (L.) DC.	ヤマブキ	25390
<i>Malus toringo</i> (Sieb.) Sieb. ex Uriese	ズミ	25450
<i>Potentilla centigrana</i> Maxim.	ヒメヘビイチゴ	25550
<i>Potentilla fragarioides</i> L. var. <i>major</i> Maxim.	キンムシロ	25610
<i>Potentilla freyniana</i> Bornm.	ミツバツチケリ	25620
<i>Potentilla sundaica</i> (Blume) O. Kuntze var. <i>robusta</i> (Franch. et Sav.) Kitagawa	オヘビイチゴ	25830
<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>villosa</i>	ワタゲカマツカ, オカマツカ	
<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>laevis</i> (Thunb.) Stapf	カマツカ	25890
<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>zollingeri</i> (Decne.) Nakai	ケカマツカ	25900
<i>Prunus buergeriana</i> Miq.	イヌザクラ, シロザクラ	25930
<i>Prunus grayana</i> Maxim.	ウワミスザクラ	25950
<i>Prunus incisa</i> Thunb. var. <i>kinkiensis</i> (Koidz.) Ohwi	キンキマザクラ	26010
<i>Prunus jamasakura</i> Sieb. ex Koidz.	ヤマザクラ	26030
<i>Prunus verecunda</i> Koehne	カスミザクラ, ヤマザクラ	26250
<i>Rosa multiflora</i> Thunb.	ノイバラ	26560
<i>Rosa paniculigera</i> Makino ex Momiyama	ミヤコイバラ	26600
<i>Rubus buergeri</i> Miq.	フユイチゴ	26720
<i>Rubus crataegifolius</i> Bunge	クマイチゴ, イヅノクマイチゴ	26760
<i>Rubus hakonensis</i> Franch. et Savat.	ミヤマフユイチゴ	26830
<i>Rubus hirsutus</i> Thunb.	クサイチゴ	26850
<i>Rubus microphyllus</i> L. fil.	ニガイチゴ	26990
<i>Rubus palmatus</i> Thunb.	モミシイチゴ	27140

学 名	和 名	コード
var. <i>coptophyllus</i> (A. Gray) Koidz.		
<i>Rubus parvifolius</i> L.	ナクシロイチコ	27170
<i>Sorbus alnifolia</i> (Sieb. et Zucc.) C. Koch	アス キナシ	27620
<i>Sorbus gracilis</i> (Sieb. et Zucc.) C. Koch	ナンキンナカマド	27690
<i>Sorbus japonica</i> (Decne.) Hedl.	ウラシノ ロノキ	27700
<i>Spiraea japonica</i> L. fil.	シモツク, ホリハ シモツク	27940
<i>Spiraea nipponica</i> Maxim.	マルハ イワシモツク	28100
f. <i>rotundifolia</i> Makino		
<i>Spiraea thunbergii</i> Sieb.	ユキヤナギ, ココ ムハ ナ	28160
Leguminosae マメ科		
<i>Aeschynomene indica</i> L.	クサネム	28210
<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.	ネムノキ	28220
<i>Amorpha fruticosa</i> L.	イタチハギ	28225
<i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Fernald	ヤブ マメ	28270
ssp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) Ohashi		
var. <i>japonica</i> (Oliver) Ohashi		
<i>Astragalus sinicus</i> L.	ゲ ンゲ	28380
<i>Cassia mimosoides</i> L.	カワラケツメイ	28490
ssp. <i>nomame</i> (Sieb.) Ohashi		
<i>Desmodium podocarpum</i> DC.	ヌビ トハギ	28710
ssp. <i>oxyphyllum</i> (DC.) Ohashi		
<i>Dumasia truncata</i> Sieb. et Zucc.	ノササゲ	28740
<i>Gleditsia japonica</i> Miq.	サイカチ	28850
<i>Glycine max</i> (L.) Merr.	ツルマメ	28870
ssp. <i>soja</i> (Sieb. et Zucc.) Ohashi		
<i>Indigofera pseudotinctoria</i> Matsum.	コマツナギ	28960
<i>Kummerowia striata</i> (Thunb.) Schindler	ヤハス ソウ	29020
<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz.	ヤマハギ	29090
<i>Lespedeza cuneata</i> (Du Mont. d. Cours.) G. Don	メト ハギ	29140
<i>Lespedeza pilosa</i> (Thunb.) Sieb. et Zucc.	ネコハギ	29270
<i>Lotus corniculatus</i> L.	ミヤコグ サ	29390
var. <i>japonicus</i> Regel		
<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi	クス	29680
<i>Robinia pseudoacacia</i> L.	ハリエンジュ, ニセアカシヤ	29740
<i>Sophora flavescens</i> Ait.	クララ	29760
<i>Trifolium dubium</i> Sibth.	コマツブ ツメクサ	29824
<i>Trifolium fragiferum</i> Sibth.	ツメクサダ マシ	29825
<i>Trifolium pratense</i> L.	ムラサキツメクサ, アカツメクサ	29850
<i>Trifolium repens</i> L.	シロツメクサ, オランダ ゲ ンゲ	29860
<i>Vicia angustifolia</i> L.	ヤハス エントウ	29920
<i>Vicia hirsuta</i> (L.) S. F. Gray	スズ メノエントウ	29980
<i>Vicia pseudo-orobus</i> Fisch. et C. A. Mey.	オハ クサフジ	30010
<i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi et Ohashi	ヤブ ツルアス キ	30130
var. <i>nipponensis</i> (Ohwi) Ohwi et Ohashi		
<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.	フジ	30250
Oxalidaceae カハ ミ科		
<i>Oxalis articulata</i> Savigny	フシネハナカタハ ミ, イモカタハ ミ	30365
<i>Oxalis corniculata</i> L.	カタハ ミ	30370
<i>Oxalis corymbosa</i> DC.	ムラサキカタハ ミ	30400
<i>Oxalis fontana</i> Bunge	エゾ タチカタハ ミ	30410
<i>Oxalis griffithii</i> Edgew. et Hook. fil.	ミヤマカタハ ミ, ヤマカタハ ミ	30420
Geraniaceae フクロソウ科		
<i>Geranium thunbergii</i> Sieb. et Zucc.	ゲ ンノショウコ, フクロソウ	30630
Euphorbiaceae トウダイクサ科		
<i>Acalypha australis</i> L.	エノキグ サ	30830
<i>Euphorbia maculata</i> L.	オオニシキソウ	31080
<i>Euphorbia sieboldiana</i> Morr. et Decne.	ナツトウダイ	31180
<i>Euphorbia supina</i> Rafin.	ニシキソウ	31230

学 名	和 名	コード
Mallotus japonicus (Thunb.) Muell.-Arg.	アカカシ	31350
Daphniphyllaceae ムスリハ科		
Daphniphyllum macropodum Miq. var. humile (Maxim.) Rosenthal	エゾ ムスリハ	31530
Rutaceae ミカ科		
Orixa japonica Thunb.	コクサキ	31680
Skimmia japonica Thunb. var. repens (Nakai) Ohwi	ツルシキミ	
Zanthoxylum ailanthoides Sieb. et Zucc.	カラスザンショウ	31800
Zanthoxylum piperitum (L.) DC.	ザンショウ	31900
Zanthoxylum schinifolium Sieb. et Zucc.	イヌザンショウ	31950
Simaroubaceae ニガキ科		
Ailanthus altissima (Mill.) Swingle	シシユ	32020
Anacardiaceae ウルシ科		
Rhus ambigua Lavallee ex Dippel	ツタウルシ	32230
Rhus javanica L. var. roxburgii (DC.) Rehd. et Wils.	ヌルテ	32260
Rhus trichocarpa Miq.	ヤマウルシ	32300
Aceraceae カエデ科		
Acer crataegifolium Sieb. et Zucc.	ウリカエデ, メウリナキ	32390
Acer japonicum Thunb.	ハウチワカエデ	32440
Acer mono Maxim. var. connivens (Nichols) Hara	ウラケ エノコウカエデ	
Acer palmatum Thunb. var. palmatum	イロハモミジ, タカオカエデ	
Acer palmatum Thunb. var. matumurae (Koidz.) Makino	ヤマモミジ	32760
Acer rufinerve Sieb. et Zucc.	ウリハダ カエデ	32810
Acer sieboldianum Miq.	イタヤメイゲツ, コハウチワカエデ	32830
Hippocastanaceae トチノキ科		
Aesculus turbinata Blume	トチノキ	32960
Sabiaceae アワフキ科		
Meliosma myriantha Sieb. et Zucc.	アワフキ	32990
Meliosma tenuis Maxim.	ミヤマハハソ	33040
Balsaminaceae ツリフネウ科		
Impatiens textori Miq.	ツリフネウ	33110
Aquifoliaceae モチノキ科		
Ilex crenata Thunb. var. paludosa (Nakai) Hara	ハイイヌツゲ	33260
Ilex integra Thunb.	モチノキ	33340
Ilex macropoda Miq.	アオハダ	33430
Ilex pedunculosa Miq.	ソヨコ	33540
Ilex serrata Thunb.	ウメトキ, オオハウメトキ	33620
Celastraceae ニシキキ科		
Celastrus orbiculatus Thunb.	ツルウメトキ	33700
Celastrus orbiculatus Thunb. var. papillosus (Nakai ex Hara) Ohwi	オニツルウメトキ, イヌツルウメトキ	33720
Euonymus alatus (Thunb.) Sieb.	ニシキキ	33760
Euonymus alatus (Thunb.) Sieb. f. ciliato-dentatus (Franch. et Savat.) Hiyama	コマユミ	33780
Euonymus fortunei (Turcz.) Hand.-Mazz. var. radicans (Sieb. ex Miq.) Rehd.	ツルマサキ	33900
Euonymus japonicus Thunb.	マサキ	33940
Euonymus sieboldianus Blume var. sieboldianus	マユミ	
Staphyleaceae ミツハウツギ科		
Euscaphis japonica (Thunb.) Kanitz	ゴンスイ	34300
Staphylea bumalda (Thunb.) DC.	ミツハウツギ	34320

学 名	和 名	コード
Buxaceae ツグ科		
<i>Pachysandra terminalis</i> Sieb. et Zucc.	フッキソウ	34410
Rhamnaceae クロウメモドキ科		
<i>Berchemia racemosa</i> Sieb. et Zucc.	クマヤナギ	34480
<i>Hovenia dulcis</i> Thunb.	ケンホナシ	34550
<i>Rhamnus japonica</i> Maxim. var. <i>decipiens</i> Maxim.	クロウメモドキ	34710
Vitaceae フトウ科		
<i>Ampelopsis glandulosa</i> (Wall.) Momiyama var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Momiyama	フトウ	34830
<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagn.	ヤブガラシ, ビンホウカスラ	34850
<i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Sieb. et Zucc.) Planch.	ツタ, ナツツタ	34900
<i>Vitis ficifolia</i> Bunge var. <i>lobata</i> (Regel) Nakai	エビヅル	34980
<i>Vitis flexuosa</i> Thunb.	ザンカクヅル, キョウジヤノミズ	35000
Tiliaceae シナ科		
<i>Tilia japonica</i> (Miq.) Simonkai	シナキ	35160
Elaeagnaceae グミ科		
<i>Elaeagnus glabra</i> Thunb.	ツルグミ	35810
<i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb. var. <i>hortensis</i> (Maxim.) Serv.	トウグミ, ツクシグミ	35930
Violaceae スミレ科		
<i>Viola grypceras</i> A. Gray	タチツボスミレ	36490
<i>Viola hondoensis</i> W. Becker et H. Boiss.	アオイスミレ	36560
<i>Viola kusanoana</i> Makino	オオタチツボスミレ	36630
<i>Viola mandshurica</i> W. Becker	スミレ	36660
<i>Viola minor</i> (Makino) Makino	ヒメスミレ	36690
<i>Viola rostrata</i> Muhl. var. <i>japonica</i> (W. Becker et H. Boiss.) Ohwi	ナガハシスミレ	36840
<i>Viola vaginata</i> Maxim.	スミレサイシン	36980
<i>Viola verecunda</i> A. Gray	ツボスミレ	37000
Stachyuraceae キブシ科		
<i>Stachyurus praecox</i> Sieb. et Zucc. var. <i>praecox</i>	キブシ	
<i>Stachyurus praecox</i> Sieb. et Zucc. var. <i>leucotrichus</i> Hayashi	ケキブシ	37160
Cucurbitaceae ウリ科		
<i>Actinostemma lobatum</i> (Maxim.) Maxim.	ゴキヅル	37250
<i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino	アマチャヅル	37270
<i>Schizopepon bryoniaefolius</i> Maxim.	ミヤマニガウリ	37340
<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim.	カラスウリ	37390
<i>Trichosanthes kirilowii</i> Maxim. var. <i>japonica</i> (Miq.) Kitamura	キカラスウリ	37400
Onagraceae アカハナ科		
<i>Circaea mollis</i> Sieb. et Zucc.	ミスアマソウ	37920
<i>Epilobium pyrricholophum</i> Franch. et Savat.	アカハナ	38070
<i>Ludwigia epilobioides</i> Maxim.	チョウジタテ	38100
<i>Oenothera biennis</i> L.	マツヨイグサ	38150
Alangiaceae ウリ科		
<i>Alangium platanifolium</i> (Sieb. et Zucc.) Harms var. <i>trilobum</i> (Miq.) Ohwi	ウリキ	38310
Cornaceae ミズキ科		
<i>Aucuba japonica</i> Thunb. var. <i>borealis</i> Miyabe et Kudo	ヒメアオキ	38340
<i>Benthamidia japonica</i> Hara	ヤマホウシ	38360
<i>Cornus controversa</i> Hemsley	ミスギ	38400
<i>Cornus macrophylla</i> Wall.	クマノミズギ	38420
<i>Helwingia japonica</i> (Thunb.) F. G. Dietr.	ハナイカダ	38450

学 名	和 名	コード
Araliaceae ウコギ科		
<i>Acanthopanax sciadophylloides</i> Franch. et Savat.	コシアブラ	38520
<i>Acanthopanax spinosus</i> (L. fil.) Miq.	ヤマウコギ, オウコギ	38550
<i>Aralia cordata</i> Thunb.	ウド	38580
<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann	トラノギ	38600
<i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. et Planch.	ヤツデ	38650
<i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean	キヅタ, フユヅタ	38680
<i>Kalopanax pictus</i> (Thunb.) Nakai	ハリギリ, センノギ	38700
Umbelliferae ㊦リ科		
<i>Angelica polymorpha</i> Maxim.	シラネンキュウ, ススガセリ	39010
<i>Angelica pubescens</i> Maxim.	シシウド, ウドタラシ	39030
<i>Anthriscus sylvestris</i> (L.) Hoffm.	シヤク, コシヤク	39150
<i>Centella asiatica</i> (L.) Urban	ツボクサ	39290
<i>Chamaele decumbens</i> (Thunb.) Makino	セントウソク	39310
<i>Cryptotaenia japonica</i> Hassk.	ミツバ	39450
<i>Hydrocotyle maritima</i> Honda	ノヂトメ	39570
<i>Hydrocotyle ramiflora</i> Maxim.	オオヂトメ	39580
<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> Ram.	チトメグサ	39590
<i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC.	セリ	39630
<i>Osmorhiza aristata</i> (Thunb.) Rydberg	ヤブニンジン	39650
<i>Sanicula chinensis</i> Bunge	ウマノミツバ	39780
<i>Torilis japonica</i> (Houtt.) DC.	ヤブジラミ	39970
<i>Torilis scabra</i> (Thunb.) DC.	オヤブジラミ	39980

SYMPETALAE 合弁花類

Clethraceae リョウブ科		
<i>Clethra barbinervis</i> Sieb. et Zucc.	リョウブ	40180
Pyrolaceae イチヤクソウ科		
<i>Pyrola japonica</i> Klenze	イチヤクソウ	40320
Ericaceae ツツジ科		
<i>Elliotia paniculata</i> (Sieb. et Zucc.) Benth. et Hook. fil.	ホツツジ	
<i>Epigaea asiatica</i> Maxim.	イワナシ	40590
<i>Eubotryoides grayana</i> Hara var. <i>grayana</i>	ハナヒリノキ	
<i>Lyonia ovalifolia</i> (Wall.) Drude var. <i>elliptica</i> (Sieb. et Zucc.) Hand.-Mazz.	ネジキ	40750
<i>Menziesia cicalyx</i> (Miq.) Maxim.	ウスギヨウラク	40760
<i>Rhododendron nudipes</i> Nakai ssp. <i>niphophilum</i> Yamazaki	ユキクニミツバツツジ	41730
<i>Rhododendron obtusum</i> Planchon var. <i>kaempferi</i> (Planch.) Wilson	ヤマツツジ	41770
<i>Vaccinium japonicum</i> Maxim.	アケシバ	42350
Myrsinaceae ヤブコウジ科		
<i>Ardisia crispa</i> (Thunb.) DC.	カラタチバナ	42600
<i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume	ヤブコウジ, ヤマタチバナ	42620
Primulaceae サクラソウ科		
<i>Lysimachia clethroides</i> Duby	オカトラノオ	42810
<i>Lysimachia fortunei</i> Maxim.	ヌマトラノオ	42830
<i>Lysimachia japonica</i> Thunb.	コナシビ, カガエコナシビ	42840
Styracaceae エゴノキ科		
<i>Styrax japonicus</i> Sieb. et Zucc.	エゴノキ	43460
Symplocaceae ミノキ科		
<i>Symplocos coreana</i> (Lév.) Ohwi	クナサザワタギ	43620
<i>Symplocos sawafutagi</i> Nagamasu	サワフタギ	
Oleaceae トクサ科		

学 名	和 名	コード
Fraxinus lanuginosa Koidz. f. serrata (Nakai) Murata	アオダモ, コハノトネリコ	43900
Fraxinus longicuspis Sieb. et Zucc. var. longicuspis	ヤマトアオダモ, オオトネリコ	
Fraxinus sieboldiana Bl.	マルハアオダモ	43940
Ligustrum japonicum Thunb.	ネズミモチ	44000
Ligustrum obtusifolium Sieb. et Zucc.	イボタノキ	44070
Ligustrum tschonoskii Decne.	ミヤマイボタ	44170
Osmanthus heterophyllus (G. Don) P. S. Green	ヒイラギ	44230
Gentianaceae リントウ科		
Gentiana scabra Bunge var. buergeri Maxim.	リントウ	44510
Swertia japonica (Schultes) Makino	センブリ	44840
Tripterospermum japonicum (Sieb. et Zucc.) Maxim.	ツルリントウ	45000
Apocynaceae キョウチクトウ科		
Trachelospermum asiaticum (Sieb. et Zucc.) Nakai	テイカカズラ	
Asclepiadaceae ガガイ科		
Cynanchum sublancheolatum (Miq.) Matsum. var. macranthum (Maxim.) Matsum.	シロバナナカメヅル	45610
Metaplexis japonica (Thunb.) Makino	ガガイ	45720
Tylophora aristolochioides Miq.	オオカメヅル	45760
Rubiaceae アカネ科		
Galium gracilens (A. Gray) Makino	ヒメヨツバムグラ	45990
Galium kikumugura Ohwi	キクムグラ	46050
Galium pseudo-asprellum Makino	オオハヤエムグラ	46170
Galium spurium L. var. echinospermon (Wallr.) Hayek	ヤエムグラ	46180
Galium trachyspermum A. Gray	ヨツバムグラ	46210
Galium trifloriforme Komarov var. trifloriforme	オククルマムグラ	
Hedyotis lindleyana Hook. var. glabra (Honda) Hara	オオハシカグサ	46390
Hedyotis lindleyana Hook. var. hirsuta (L. fil.) Hara	ハシカグサ	46400
Mitchella undulata Sieb. et Zucc.	ツルアリトウシ	46590
Paederia scandens (Lour.) Merrill	ヘクソカズラ, ヤイトハナ	46740
Rubia argyi (Lév. et Van.) Hara	アカネ	46880
Convolvulaceae ヒルガオ科		
Calystegia hederacea Wall.	コヒルガオ	47050
Calystegia japonica Choisy	ヒルガオ	47060
Calystegia soldanella (L.) Roem. et Schult.	ハマヒルガオ	47080
Convolvulus arvensis L.	セイヨウヒルガオ	47085
Cuscuta japonica Choisy	ネチシカズラ	47120
Ipomoea coccinea L.	マルハルコウ	47146
Boraginaceae ムラサキ科		
Bothriospermum tenellum (Hornem.) Fisch. et Mey.	ハナイハナ	47200
Omphalodes krameri Fr. et Sav. var. laevisperma (Nakai) Ohwi	エチゴルソウ	47520
Trigonotis peduncularis (Trevir.) Benth.	キュウリグサ	47590
Verbenaceae クマツヅラ科		
Callicarpa japonica Thunb.	ムラサキシキブ	47650
Clerodendrum trichotomum Thunb.	クサギ	47850
Verbena bonariensis L.	ヤナギハナグサ	47945
Verbena brasiliensis Vell.	アレチハナグサ	47946
Labiatae シソ科		
Ajuga decumbens Thunb.	キラソウ, シゴクノカマノタ	48080
Ajuga yesoensis Maxim.	ニシキコノモ, キンモンソウ	48170
Clinopodium chinense (Benth.) O. Kuntze	クルマハナ	48240

学 名	和 名	コード
var. parviflorum (Kudo) Hara		
Clinopodium gracile (Benth.) O. Kuntze	トウバナ	48260
Clinopodium micranthum (Regel) Hara	イヌトウバナ	48280
Clinopodium multicaule (Maxim.) O. Kuntze	ヤマトウバナ	48300
Elsholtzia ciliata (Thunb.) Hylander	ナギナタコウジ	48360
Glechoma hederacea L.	カキトオシ	48420
var. grandis (A. Gray) Kudo		
Lamium amplexicaule L.	ホトケナガ	48480
Lamium barbatum (Sied. et Zucc.) Franch. et Savat.	オトリコソウ	48490
Lamium purpureum L.	ヒメオトリコソウ	48520
Leucosceptrum japonicum (Miq.) Kitam. et Murata	テンニンソウ	48560
Lycopus lucidus Turcz.	シロネ	48590
Lycopus ramosissimus Makino	コシロネ, イヌシロネ	48630
var. japonicus (Matsum. et Kudo) Kitam.		
Mentha arvensis L.	ハッカ	48670
var. piperascens Malinvaud		
Mentha spicata L.	オランダハッカ	48685
var. crispa Benth.		
Mosla dianthera (Hamilt.) Maxim.	ヒメシソ	48700
Mosla punctulata (J. F. Gmel.) Nakai	イヌコウジ	48760
Perilla frutescens (L.) Britton	エゴマ	48800
var. japonica (Hassk.) Hara		
Perilla frutescens (L.) Britton	レモンエゴマ	48810
var. citriodora (Makino) Ohwi		
Prunella vulgaris L.	ウツボグサ	48860
ssp. asiatica (Nakai) Hara		
Rabdosia inflexa (Thunb.) Hara	ヤマハッカ	48900
Rabdosia japonica (Burm. fil.) Hara	ヒキオコシ	48920
Rabdosia shikokiana (Makino) Hara	サンインヒキオコシ	48990
var. occidentalis (Murata) Hara		
Rabdosia trichocarpa (Maxim.) Hara	クロバナヒキオコシ	49010
Salvia glabrescens Makino	アキギリ, ミヤマアキギリ	49060
Scutellaria indica L.	タツナミソウ	49240
Teucrium viscidum Blume	ツルニガクサ	49480
var. miquelianum (Maxim.) Hara		
Solanaceae ナス科		
Lycium chinense Miller	クコ	49520
Physalis alkekengi L.	ホオズキ	49560
var. franchetii (Masters) Makino		
Solanum americanum Miller	アメリカイヌホオズキ, テリミノイヌホオズキ	49600
Solanum carolinense L.	ワルナスビ	49640
Solanum lyratum Thunb.	ヒヨドリソウ, ヨウコ	49700
Solanum maximowiczii Koidz.	マルバナホロシ	49720
Solanum nigrum L.	イヌホオズキ	49740
Tubocapsicum anomalum (Fr. et Sav.) Makino	ハダカホオズキ	49750
Scrophulariaceae コマノハグサ科		
Cymbalaria muralis (Maxim.) Yamazaki	ツタバナウンラン	49835
Lindernia antipoda (L.) Alston	スズメノトウガラシ	50210
Lindernia crustacea (L.) F. Mueller	ウリクサ	50230
Lindernia dubia (L.) Pennell	アメリカアゼナ	50240
Lindernia micrantha D. Don	アゼトウガラシ	50250
Lindernia procumbens (Krock.) Borbás	アゼナ	50270
Mazus miquelii Makino	ムラサキサキコケ, サキコケ	50330
Mazus pumilus (Brum. fil.) van Steenis	トキワセ	50360
Melampyrum roseum Maxim.	ママコナ	50460
var. japonicum Fr. et Sav.		
Mimulus nepalensis Bentham	ミゾホオズキ	50510
Phtheirospermum japonicum (Thunb.) Kanitz	コシガマ	50850

学 名	和 名	コード
<i>Verbascum thapsus</i> L.	ヒロトモウスイカ	51260
<i>Veronica arvensis</i> L.	アヲノフグリ	51280
<i>Veronica persica</i> Poiret	オオノフグリ	51420
Bignoniaceae ノビネノミ科		
<i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steuder	キリ	51640
Acanthaceae キツネノマコ科		
<i>Justicia procumbens</i> L.	キツネノマコ	51690
Phrymaceae ハイトクソ科		
<i>Phryma leptostachya</i> L. ssp. <i>asiatica</i> Hara	ハイトクソ	52290
Plantaginaceae オハコ科		
<i>Plantago asiatica</i> L.	オハコ	52300
<i>Plantago lanceolata</i> L.	ヘラオハコ	52380
Caprifoliaceae スイカズラ科		
<i>Abelia spathulata</i> Sieb. et Zucc.	ツクハネツギ	52470
<i>Lonicera japonica</i> Thunb.	スイカズラ	52720
<i>Sambucus chinensis</i> Lindl.	ソクス	52950
<i>Sambucus racemosa</i> L. ssp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) Hara	コトコ	53030
<i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.	ガマスミ	53160
<i>Viburnum erosum</i> Thunb. var. <i>punctatum</i> Franch. et Savat.	コバノガマスミ	53210
<i>Viburnum odoratissimum</i> Ker-Gawler var. <i>awabuki</i> (K. Koch) Zabel	サンゴジユ	53320
<i>Viburnum plicatum</i> Thunb. var. <i>glabrum</i> (Koidz) Hara	ケナシブテマリ	
<i>Viburnum sieboldii</i> Miq. var. <i>obovatifolium</i> (Yanagita) Sugimoto	マルハゴマキ	53420
<i>Viburnum wrightii</i> Miq.	ミヤマガマスミ	53470
<i>Weigela hortensis</i> (Sieb. et Zucc.) K. Koch	タニツギ	53640
Valerianaceae オミナエシ科		
<i>Patrinia scabiosaefolia</i> Fisch.	オミナエシ	53760
<i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.	オトコエシ	53830
Campanulaceae キキョウ科		
<i>Adenophora remotiflora</i> (Sieb. et Zucc.) Miq.	ソバナ	54040
<i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A. DC. var. <i>japonica</i> (Regel) Hara	ツリガネニンジン	54130
<i>Campanula punctata</i> Lam.	ホタルブクロ	54180
<i>Campanula punctata</i> Lam. var. <i>hondoensis</i> Kitamura	ヤマホタルブクロ, ホントホタルブクロ	54190
<i>Codonopsis lanceolata</i> (Sieb. et Zucc.) Trautv.	ツルニンジン	54240
<i>Lobelia chinensis</i> Lour.	ミゾカクシ, アゼムシロ	54290
<i>Peracarpa carnosus</i> (Wall.) Hook. fil. et Thomson var. <i>circaeoides</i> (Fr. Schm.) Makino	タニキキョウ	54330
<i>Specularia perfoliata</i> (L.) A. DC.	キキョウソウ	54376
Compositae キク科		
<i>Adenocaulon himalaicum</i> Edgew.	ノブキ	54480
<i>Ainsliaea acerifolia</i> Sch.-Bip. var. <i>subapoda</i> Nakai	オクモミシハグマ	54510
<i>Ainsliaea apiculata</i> Sch.-Bip.	キッコウハグマ	54520
<i>Ambrosia artemisiifolia</i> L. var. <i>elatior</i> (L.) Descurtiz	ブタクサ	54580
<i>Ambrosia trifida</i> L.	クワモトキ	54600
<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook. fil. ssp. <i>yedoensis</i> (Franch. et Savat.) Kitam.	カラハハコ	54650
<i>Artemisia annua</i> L.	クワニンジン, ホソバニンジン	54750
<i>Artemisia capillaris</i> Thunb.	カラヨモギ	54790
<i>Artemisia princeps</i> Pampan.	ヨモギ, カサザヨモギ	55010

学 名	和 名	コード
Aster ageratoides Turcz. ssp. leiophyllus (Franch. et Savat.) Kitam.	シロヨメナ, ヤマシロギク	55140
Aster ageratoides Turcz. ssp. ovatus (Franch. et Savat.) Kitam.	ノコンギク	55220
Aster glehnii Fr. Schm. var. hondoensis Kitam.	ゴマナ	55360
Aster pilosus Willd.	キダチノコンギク	55398
Aster scaber Thunb.	シラヤマギク	55430
Aster subulatus Michx.	ホウキギク	
Bidens frondosa L.	アメリカセンダングサ	55570
Carpesium abrotanoides L.	ヤブタバコ	55960
Carpesium divaricatum Sieb. et Zucc.	ガンクビソウ	55980
Carpesium glossophyllum Maxim.	サシガンクビソウ	56020
Centipeda minima (L.) A. Braun et Ascherson	トキンソウ	56060
Chrysanthemum leucanthemum L.	フランスギク	56066
Cirsium japonicum DC.	ノアザミ	56430
Cirsium kagamontanum Nakai	カガノアザミ	56470
Cirsium matsumurae Nakai	ハクサンアザミ	56610
Cirsium matsumurae Nakai var. dubium Kitam.	ホッコクアザミ	56620
Cirsium yezoense (Maxim.) Makino	サワアザミ	57050
Conyza sumatrensis Retz.	オアレチノギク	57080
Crassocephalum crepidioides (Benth.) S. Moore	ヘコバナホウキギク	57090
Eclipta prostrata (L.) L.	タカサゴロウ	57520
Erechtites hieracifolia (L.) Rafin.	ダントホウキギク	57560
Erigeron canadensis L.	ヒメムカシヨモギ	57620
Erigeron philadelphicus L.	ハルジオン	57640
Eupatorium chinense L. var. oppositifolium (Koidz.) Murata et H. Koyama	ヒヨドリバナ	57700
Farfugium japonicum (L.) Kitam.	ツワブキ	57830
Galinsoga ciliata (Raf.) Blake	ハキダメギク	57856
Gnaphalium affine D. Don	ハハコグサ	57870
Gnaphalium calviceps Fern.	クチクグサ	57880
Gnaphalium japonicum Thunb.	チクグサ	57900
Gnaphalium pensylvanicum Willd.	チクグサモトキ	57910
Helianthus strumosus L.	イヌキイモ	57948
Helianthus tuberosus L.	キイモ	57949
Hypochoeris radicata L.	ブタ	58066
Ixeris debilis (Thunb.) A. Gray	オオシシバリ, シシバリ	58120
Ixeris dentata (Thunb.) Nakai var. dentata	ニガナ	
Ixeris dentata (Thunb.) Nakai var. albiflora (Makino) Nakai	シロバナニガナ	58140
Ixeris dentata (Thunb.) Nakai var. albiflora (Makino) Nakai f. amplifolia (Kitam.) Hiyama	ハチニガナ	58150
Ixeris stolonifera A. Gray	イワニガナ, シシバリ	58300
Kalimeris pinnatifida (Maxim.) Kitam.	ユウガギク	58380
Kalimeris yomena Kitam.	ヨメナ	58390
Lactuca indica L. var. laciniata (O. Kuntze) Hara	アキノナゲシ	
Lactuca raddeana Maxim. var. elata (Hemsl.) Kitam.	ヤマニガナ	58450
Lapsana humilis (Thunb.) Makino	ヤブタバコ	58520
Leibnitzia anandria (L.) Turcz.	センボンヤリ, ムラサキタンポポ	58540
Miyamayomena savatieri (Makino) Kitam.	ミヤマヨメナ, ノシユンギク	58740
Pertya rigidula (Miq.) Makino	クルマバハクマ	58810
Petasites japonicus (Sieb. et Zucc.) Maxim.	フキ	58870

学 名	和 名	コード
<i>Picris hieracioides</i> L. var. <i>glabrescens</i> (Regel) Ohwi	コウゾリナ	58910
<i>Senecio vulgaris</i> L.	ホトキク	59730
<i>Siegesbeckia orientalis</i> L. ssp. <i>glabrescens</i> (Makino) Kitam.	コナモミ	59760
<i>Siegesbeckia orientalis</i> L. ssp. <i>pubescens</i> (Makino) Kitam.	ナモミ	59770
<i>Solidago altissima</i> L.	セイタカアワダチソウ	59775
<i>Solidago gigantea</i> Ait. var. <i>leiophylla</i> Fern.	オオアワダチソウ	59776
<i>Solidago virgaurea</i> L. var. <i>asiatica</i> Nakai	アキノキリソウ	59780
<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill	オニゲシ	59850
<i>Sonchus oleraceus</i> L.	ノゲシ, ハルノゲシ	59870
<i>Stenactis annuus</i> (L.) Cass.	ヒメジヨオン	59880
<i>Synurus pungens</i> (Franch. et Savat.) Kitam.	オヤマホトチ	59970
<i>Taraxacum albidum</i> Dahlst.	シロバナタンポポ	60000
<i>Taraxacum hondoense</i> Nakai ex H. Koidz.	エゾタンポポ	60090
<i>Taraxacum laevigatum</i> DC.	アカミタンポポ	60145
<i>Taraxacum officinale</i> Weber	セイヨウタンポポ	60170
<i>Xanthium occidentale</i> Bertoloni	オオナモミ	60350
<i>Xanthium strumarium</i> L.	ナモミ	60370
<i>Youngia denticulata</i> (Houtt.) Kitam.	ヤクソウ	60390
<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.	オニクビラコ	60410

MONOCOTYLEDONEAE 単子葉植物

Alismataceae 禾ガ科		
<i>Sagittaria trifolia</i> L.	オモダカ	60490
Liliaceae 11科		
<i>Aletris luteoviridis</i> (Maxim.) Franch.	ノギラン	61300
<i>Allium grayi</i> Regel	ノビル	61350
<i>Allium schoenoprasum</i> L. var. <i>foliosum</i> Regel	アサツキ	61390
<i>Allium tuberosum</i> Rottl.	ニラ	61480
<i>Cardiocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino	ウバユリ	
<i>Chionographis japonica</i> Maxim.	シライソウ	61580
<i>Disporum sessile</i> Don	ホウチャクソウ	61680
<i>Disporum smilacinum</i> A. Gray	チゴユリ	61700
<i>Disporum smilacinum</i> A. Gray var. <i>ramosum</i> Nakai	エダウチチゴユリ	61710
<i>Erythronium japonicum</i> Decne	カタクリ	61730
<i>Fritillaria japonica</i> Miq. var. <i>koidzumiana</i> (Ohwi) Hara et Kanai	コシノコバネ, コバネ	61790
<i>Heloniopsis orientalis</i> (Thunb.) C. Tanaka	シヨウジヨウバカマ	61870
<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel	ヤブカンゾウ, オニカンゾウ	61950
<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>longituba</i> (Miq.) Maxim.	ノカンゾウ, ハニカンゾウ	61970
<i>Hosta sieboldiana</i> (Lodd.) Engler	オオバキホウシ	62310
<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J. Ingram f. <i>lancifolia</i> (Miq.) Hara	コバキホウシ	62350
<i>Lilium japonicum</i> Thunb.	ササユリ	62560
<i>Liriope minor</i> (Maxim.) Makino	ヒメヤブラン	62730
<i>Liriope muscari</i> (Decne) Bailey	ヤブラン	62740
<i>Ophiopogon japonicus</i> (L. fil.) Ker-Gawl.	ジヤルヒゲ	62840

学 名	和 名	コード
<i>Ophiopogon ohwii</i> Okuyama	ナガバシヤルヒゲ	62860
<i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray	ナルコユリ	62970
<i>Polygonatum lasianthum</i> Maxim.	ミヤマナルコユリ	63030
<i>Polygonatum macranthum</i> (Maxim.) Koidz.	オオナルコユリ, ヤマナルコユリ	63050
<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce	アマトコヨ	63080
var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi		
<i>Scilla scilloides</i> (Lindl.) Druce	ツルホ	63140
<i>Smilax china</i> L.	サルトリイバラ	63270
<i>Smilax nipponica</i> Miq.	タチシオテ	63340
<i>Smilax riparia</i> A. DC.	シオテ	63350
var. <i>ussuriensis</i> (Regel) Hara et T. Koyama		
<i>Smilax sieboldii</i> Miq.	ヤマカシユウ, サイカチハラ	63400
<i>Tricyrtis hirta</i> (Thunb.) Hook.	ホトトギス	63620
<i>Tricyrtis macropoda</i> Miq.	チュウゴクホトトギス	63720
var. <i>chiugokuensis</i> (Koidz.) Ohwi		
<i>Trillium smallii</i> Maxim.	エンレイソウ	63830
Amaryllidaceae ヒガンバナ科		
<i>Lycoris radiata</i> (L'Herit.) Herb.	ヒガンバナ	64140
Dioscoreaceae ヤマノイ科		
<i>Dioscorea batatas</i> Decne.	ナガイモ	64230
<i>Dioscorea gracillima</i> Miq.	タチトコヨ	64260
<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.	ヤマノイモ	64280
<i>Dioscorea septemloba</i> Thunb.	キクハドコヨ, モミジトコヨ	64330
<i>Dioscorea tokoro</i> Makino	オニトコヨ, トコヨ	64360
Pontederiaceae ミスアオイ科		
<i>Monochoria korsakowii</i> Regel et Maack	ミスアオイ	64380
<i>Monochoria vaginalis</i> (Burm. fil.) Presl	コナキ, ササナキ	64390
var. <i>plantaginea</i> (Roxb.) Solms-Laub.		
Iridaceae アイリス科		
<i>Iris japonica</i> Thunb.	シャガ	64440
<i>Iris pseudacorus</i> L.	キシヨウフ	64460
<i>Sisyrinchium atlanticum</i> Bicknell	ニワゼキショウ	64540
<i>Tritonia crocosmaeflora</i> Lemoine	ヒメヒオウキスイセン	64541
Juncaceae イグサ科		
<i>Juncus effusus</i> L.	イ, トウシソウ	64690
var. <i>decipiens</i> Buchen.		
<i>Juncus tenuis</i> Willd.	クサイ, シラネイ	64870
<i>Luzula capitata</i> (Miq.) Nakai	スズメノヤリ, スズメノヒエ	64950
<i>Luzula plumosa</i> E. Meyer	ヌカホシソウ, クロホシソウ	65030
var. <i>macrocarpa</i> (Buchen.) Ohwi		
Commelinaceae ツクサ科		
<i>Commelina communis</i> L.	ツクサ	65090
<i>Murdannia keisak</i> (Hassk.) Hand.-Mazz.	イホクサ	65140
<i>Pollia japonica</i> Thunb.	ヤブミヨウガ	65160
Gramineae イネ科		
<i>Agropyron tsukushiense</i> (Honda) Ohwi	カモシグサ	65790
var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi		
<i>Agrostis alba</i> L.	コヌカグサ	65820
<i>Agrostis clavata</i> Trin.	ヤマヌカホ	65840
<i>Agrostis clavata</i> Trin.	ヌカホ	65850
ssp. <i>matsumurae</i> (Hack.) Tateoka		
<i>Agrostis nigra</i> With.	クロコヌカグサ	65900
<i>Alopecurus aequalis</i> Sobol.	スズメノテッポウ	65970
<i>Alopecurus pratensis</i> L.	オオスズメノテッポウ	66000
<i>Andropogon virginicus</i> L.	メリケンカルカヤ	66020
<i>Arthraxon hispidus</i> (Thunb.) Makino	コブナグサ	66140
<i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) C. Tanaka	トダシバ, ケトダシバ	66170
<i>Briza maxima</i> L.	コバソウ	66560

学 名	和 名	コード
Bromus catharticus Vahl	イヌムギ	66610
Bromus pauciflorus (Thunb.) Hack.	キツネガヤ	66690
Calamagrostis arundinacea (L.) Roth var. brachytricha (Steud.) Hack.	ノガリヤス, サイトウガヤ	66810
Calamagrostis epigeios (L.) Roth	ヤマアワ	66850
Coix lacryma-jobi L.	ジュズダマ	67220
Dactylis glomerata L.	カモガヤ	67330
Digitaria ciliaris (Retz.) Koel.	メヒシバ	67470
Digitaria radicata (Presl) Miq.	コムヒシバ	67550
Digitaria violascens Link	アキメヒシバ	67590
Eccoilopus cotulifer (Thunb.) A. Camus	アワラスギ	67670
Echinochloa crus-galli (L.) Beauv. var. crus-galli	イヌヒエ, ヒエ	
Echinochloa crus-galli (L.) Beauv. var. oryzicola (Vasing.) Ohwi	タイヌヒエ	67750
Eleusine indica (L.) Gaertn.	ヒシバ	67780
Eragrostis curvula (Schrad.) Nees	シダゲレスズメガヤ	67900
Eragrostis ferruginea (Thunb.) Beauv.	カビクサ	67910
Eragrostis multicaulis Steud.	ニワホコリ	67930
Eragrostis poaeoides Beauv.	コスズメガヤ	67960
Festuca arundinacea Schreb.	オニウシノケガサ	68050
Festuca parvigluma Steud.	トホシガラ	68130
Holcus lanatus L.	シラゲガヤ	68420
Imperata cylindrica (L.) Beauv. var. koenigii (Retz.) Durand et Sching	チカヤ, フシゲチカヤ	68510
Isachne globosa (Thunb.) O. Kuntze	チコザサ	68530
Leersia sayanuka Ohwi	サヤヌカガサ	68750
Lolium perenne L.	ホソムギ, ライグラス	68840
Lophatherum sinense Rendle	トウササクサ	68890
Melica nutans L.	コムガヤ	68910
Microstegium japonicum (Miq.) Koidz.	ササガヤ	68950
Microstegium vimineum (Trin.) A. Camus var. polystachyum (Franch. et Savat.) Ohwi	アシボソ	69000
Miscanthus sinensis Anderss.	ススキ	69090
Miscanthus tinctorius (Steud.) Hack.	カリヤス	69120
Oplismenus undulatifolius (Ard.) Roemer et Schult.	ケチミザサ	69260
Oplismenus undulatifolius (Ard.) Roemer et Schult. var. japonicus (Steud.) Koidz.	コチミザサ, チミザサ	69280
Panicum bisulcatum Thunb.	ヌカギ	69330
Panicum dichotomiflorum Michx.	オオクサギ	69350
Paspalum thunbergii Kunth	スズメヒエ	69480
Pennisetum alopecuroides (L.) Spreng.	チカラシバ	
Phalaris arundinacea L.	クサヨシ	69620
Phleum pratense L.	オオアワガエリ	69690
Phragmites australis (Cav.) Trin. et Steud.	ヨシ, キタヨシ	69710
Phragmites japonica Steud.	ツルヨシ, チシバリ	69720
Phyllostachys bambusoides Sieb. et Zucc.	マダケ	69750
Phyllostachys nigra (Loddiges) Munro var. henonis (Bean) Stapf	ハチク	69780
Phyllostachys pubescens Mazel ex Houz. de Leh.	モリソウチク	69790
Pleioblastus simonii (Carr.) Nakai	マダケ, カワタケ	70140
Poa acroleuca Steud.	ミゾイチゴツナギ	70180
Poa annua L.	スズメノカタビラ	70200
Poa hisauchii Honda	ヤマミゾイチゴツナギ	70300
Poa trivialis L.	オオスズメノカタビラ	70460
Polypogon fugax Steud.	ヒエガエリ	70500
Sacciolepis indica (L.) Chase	ハイヌメリ	70650
Sacciolepis indica (L.) Chase	ヌメリガサ	70660

学 名	和 名	コード
var. oryzetorum (Makino) Ohwi		
<i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino et Shibata	チンザ ^サ , ネガ ^{リダ} ケ	70890
<i>Sasa palmata</i> (Marliac) Nakai	チマキ ^サ	71060
<i>Setaria faberi</i> Herrm.	アキノコ ^グ サ	72070
<i>Setaria pumilla</i> (Poir.) Schult.	キノコ	72130
<i>Setaria viridis</i> (L.) Beauv.	エノコ ^グ サ	72170
<i>Setaria viridis</i> (L.) Beauv. f. <i>misera</i> Honda	ムラサキ ^{エノコ}	72180
<i>Spodiopogon depauperatus</i> Hack.	ミヤマアブ ^{ラスキ}	72320
<i>Trisetum bifidum</i> (Thunb.) Ohwi	カニツリ ^グ サ	72520
<i>Vulpia myuros</i> L.	ナキ ^{ナタカ} ヤ	72600
<i>Zoysia japonica</i> Steud.	シバ	72660
Palmae ヤシ科		
<i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H. Wendl.	シロ ^ク , ワシ ^ク	72780
Araceae 芋仔科		
<i>Acorus calamus</i> L.	ショウブ	72790
<i>Acorus gramineus</i> Soland.	セキショウ	72800
<i>Arisaema amurense</i> Maxim. ssp. <i>robustum</i> (Engler) Ohashi et J. Murata	ヒロハテンナンショウ	72870
<i>Arisaema serratum</i> (Thunb.) Schott	マムシ ^グ サ	73170
<i>Arisaema thunbergii</i> Blume ssp. <i>urashima</i> Hara	ウラシマソウ	73240
<i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breitenb.	カラスビ ^{シャク} , ハンゲ	73330
<i>Symplocarpus fotidus</i> Nutt. var. <i>latissimus</i> (Makino) Hara	ザ ^セ ソウ	73350
<i>Symplocarpus nipponicus</i> Makino	ヒメザ ^セ ソウ	73360
Lemnaceae ウキクサ科		
<i>Lemna aoukikusa</i> Beppu et Murata	アウキクサ	73390
<i>Lemna minor</i> L.	コウキクサ	73430
<i>Spirodela polyrhiza</i> (L.) Schleid	ウキクサ	73470
Typhaceae ガマ科		
<i>Typha angustifolia</i> L.	ヒメガ ^マ	73690
<i>Typha latifolia</i> L.	ガ ^マ	73700
<i>Typha orientalis</i> Presl	コガ ^マ	73710
Cyperaceae カヤツリクサ科		
<i>Bulbostylis barbata</i> (Rottb.) Kunth	ハタガ ^ヤ	73720
<i>Carex albata</i> Boott	ミノホ ^{ロスケ}	73760
<i>Carex blepharicarpa</i> Franch.	ショウシ ^{ヨウスケ}	73900
<i>Carex breviculmis</i> R. Br.	アオスケ	73950
<i>Carex conica</i> Boott	ヒメカンスケ	74150
<i>Carex curvicolis</i> Franch. et Savat.	ナルコスケ	74180
<i>Carex dispalata</i> Boott	カサケ ^{, ミノスケ}	74240
<i>Carex doniana</i> Spreng.	シラスケ ^{, ムシヤスケ}	74300
<i>Carex fedia</i> Nees var. <i>miyabei</i> (Franch.) T. Koyama	ヒ ^ロ ト ^{スケ}	74350
<i>Carex flabellata</i> Lévl. et Van.	ヤマテキリスケ	74430
<i>Carex foliosissima</i> Fr. Schm.	オクノカンスケ ^{, エゾ カンスケ}	74450
<i>Carex hondoensis</i> Ohwi	アイス ^{スケ}	74640
<i>Carex incisa</i> Boott	カワラスケ ^{, タニスケ}	74690
<i>Carex insanae</i> Koidz.	ヒロハ ^{スケ}	74700
<i>Carex ischnostachya</i> Steud.	ジ ^{ユス} スケ	74730
<i>Carex japonica</i> Thunb.	ヒコ ^{クサ} , ヒコ ^{スケ}	74750
<i>Carex lenta</i> D. Don	ナキリスケ	74880
<i>Carex maximowiczii</i> Miq.	コ ^ウ	75040
<i>Carex mollicula</i> Boott	ヒメシラスケ	75170
<i>Carex morrowii</i> Boott var. <i>temnolepis</i> (Franch.) Ohwi	ホソハ ^{カンスケ} , サト ^{カンスケ}	75200
<i>Carex parciflora</i> Boott	コシ ^{ユス} スケ	75440

学 名	和 名	コード
var. <i>macroglossa</i> (Fr. et Sav.) T. Koyama		
<i>Carex phacota</i> Spreng.	ヒメコウウシ, アオコウウシ	75530
<i>Carex podogyna</i> Franch. et Savat.	タヌキラン	75610
<i>Carex rugata</i> Ohwi	クサスゲ	75790
<i>Carex shimidzensis</i> Franch.	アズマナルコ, ミヤマナルコスゲ	76060
<i>Carex siderosticta</i> Hance	タガネソウ	76070
<i>Carex stenostachys</i> Franch. et Savat.	ニシノホンモンシスゲ	76140
<i>Cyperus amuricus</i> Maxim.	チャガヤツリ	76420
<i>Cyperus brevifolius</i> (Rottb.) Hassk.	ヒメクサ	76440
var. <i>leiolepis</i> (Fr. et Sav.) T. Koyama		
<i>Cyperus compressus</i> L.	クサガヤツリ	76450
<i>Cyperus difformis</i> L.	タマガヤツリ	76480
<i>Cyperus globosus</i> All.	アセガヤツリ	76530
<i>Cyperus iria</i> L.	ココメガヤツリ	76570
<i>Cyperus microiria</i> Steud.	カヤツリグサ, キガヤツリ	76580
<i>Cyperus nipponicus</i> Franch. et Savat.	アオガヤツリ, オオタマガヤツリ	76610
<i>Eleocharis acicularis</i> (L.) Roem. et Schult.	マツバ	76770
var. <i>longiseta</i> Svenson		
<i>Fimbristylis autumnalis</i> (L.) Roem. et Schult.	ヒメヒラテツキ, クサテツキ	77050
<i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl	テツキ	77080
<i>Fimbristylis miliacea</i> (L.) Vahl	ヒテリコ	77180
<i>Fimbristylis velata</i> R. Br.	メアセテツキ	77290
<i>Scirpus juncooides</i> Roxb.	ホタルイ, イヌホタルイ	77570
<i>Scirpus triangulatus</i> Roxb.	カンガレイ	77770
<i>Scirpus wichurae</i> Böckl.	アブラガヤ, アイハソウ	77800
Zingiberaceae ショウガ科		
<i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Roscoe	ミョウガ	78050
Orchidaceae ラン科		
<i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Reichb. fil.	シラン	78180
<i>Cremastra appendiculata</i> (D. Don) Makino	サイハイラン	78710
<i>Cymbidium goeringii</i> (Reichb. fil.) Reichb. fil.	シュンラン	78760
<i>Oreorchis patens</i> (Lindl.) Lindl.	コケイラン	80450
<i>Platanthera minor</i> (Miq.) Reichb. fil.	オオバノトンボソウ	80650
<i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames	ネジバナ, モジスリ	80930
var. <i>amoena</i> (M. Bieberson) Hara		

金沢市植物目録（丘陵および市街地）の統計表

分類群	科	属	種類	備考
(1) シダ植物	19	35	69	
(2) 種子植物	111	408	745	(3) + (4)
(3) 裸子植物	7	13	18	
(4) 被子植物	104	395	727	(5) + (8)
(5) 双子葉植物	88	300	537	(6) + (7)
(6) 離弁花類	62	179	330	
(7) 合弁花類	26	121	207	
(8) 単子葉植物	16	95	190	
(9) 総数	130	443	814	(1) + (2)

種のほか、種内分類群（亜種、変種、ほかに3品種を含む）が区別されている場合には、それぞれ1種類として数えてある。

金沢市に分布する絶滅危惧植物（国、石川県）一覧表

学名	和名	コード	絶滅危惧 国 県
PTERIDOPHYTA シダ植物			
<i>Ceratopteris thalictroides</i> (L.) Brongn.	ミスワビ	02190	NT
<i>Pteris multifida</i> Poir.	イモトソウ	02630	NT
<i>Asplenium trichomanes</i> L.	チゼンソウ	03190	NT
<i>Woodwardia orientalis</i> Sw.	コモチソウ	03410	NT
SPERMATOPHYTA 種子植物			
GYMNOSPERMAE 裸子植物			
<i>Juniperus rigida</i> Sieb. et Zucc.	榊	09230	II
<i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) Lamb.	イヌマキ	09340	DD
ANGIOSPERMAE 被子植物			
DICOTYLEDONEAE 双子葉植物			
CHOLIPETALAE 離弁花類			
<i>Dichocarpum nipponicum</i> (Franch.) W. T. Wang et Hsiao	アスマシロカネソウ	18220	NT
<i>Saururus chinensis</i> (Lour.) Baill.	ハンゲショウ	19520	II
<i>Cleyera japonica</i> Thunb.	サカキ	20580	NT
<i>Corydalis capillipes</i> Franch.	ミチノクエンゴウサカ	21300	NT
<i>Corydalis decumbens</i> (Thunb.) Pers.	ジロハクエンゴウサカ	21320	NT
<i>Prunus buergeriana</i> Miq.	イヌザクラ	25930	NT
<i>Gleditsia japonica</i> Miq.	サイハチ	28850	NT
<i>Vicia pseudo-orobus</i> Fisch. et C. A. Mey.	オオハクサソウ	30010	NT
<i>Viola rostrata</i> Muhl.	ナガハシスミレ	36840	NT
var. <i>japonica</i> (W. Becker et H. Boiss.) Ohwi			
SYMPETALAE 合弁花類			
<i>Ardisia crispa</i> (Thunb.) DC.	カラタチバナ	42600	NT
<i>Cynanchum sub lanceolatum</i> (Miq.) Matsum.	シロハナカモメヅル	45610	NT
var. <i>macranthum</i> (Maxim.) Matsum.			
<i>Tubocapsicum anomalum</i> (Fr. et Sav.) Makino	ハダカオキ	49750	NT
<i>Patrinia scabiosaefolia</i> Fisch.	オミナシ	53760	II
MONOCOTYLEDONEAE 単子葉植物			
<i>Erythronium japonicum</i> Decne	カケリ	61730	II
<i>Fritillaria japonica</i> Miq.	シノコバネ	61790	I
var. <i>koidzumiana</i> (Ohwi) Hara et Kanai			
<i>Hemerocallis fulva</i> L.	ノカンゾウ	61970	II
var. <i>longituba</i> (Miq.) Maxim.			
<i>Lilium japonicum</i> Thunb.	ササユリ	62560	NT
<i>Tricyrtis hirta</i> (Thunb.) Hook.	ホトトギス	63620	NT
<i>Tricyrtis macropoda</i> Miq.	チュウゴクホトトギス	63720	DD
var. <i>chiugokuensis</i> (Koidz.) Ohwi			
<i>Monochoria korsakowii</i> Regel et Maack	ミスアオイ	64380	VU I
<i>Lophatherum sinense</i> Rendle	トウササユリ	68890	NT
<i>Lysichiton camtschaticense</i> (L.) Schott	* ミズハシヨウ	73320	NT
<i>Symplocarpus nipponicus</i> Makino	ヒメザゼンソウ	73360	NT
<i>Typha orientalis</i> Presl	コガマ	73710	II
<i>Oreorchis patens</i> (Lindl.) Lindl.	コケイラン	80450	II

*ミズハシヨウ 今回の調査で採集はされていないが、重要な種類

VU:絶滅危惧Ⅱ類(国) NT:準絶滅危惧 I:絶滅危惧Ⅰ類 II:絶滅危惧Ⅱ類 DD:情報不足

金沢市において保全上、重要な植物リスト

学名	和名	コード	選定理由
PTERIDOPHYTA シダ植物			
<i>Botrychium japonicum</i> (Prantel) Underw.	オハケワラビ	00580	④
<i>Botrychium ternatum</i> (Thunb.) Sw.	フコハケワラビ	00690	④
<i>Gleichenia japonica</i> Spr.	ウラボシ	01050	④
<i>Cyrtomium fortunei</i> J. Sm.	ヤブソテツ	03900	③
<i>Dryopteris erythrosora</i> (Eat.) O. Kuntze	ヘニシダ	04070	③
<i>Dryopteris uniformis</i> (Makino) Makino	オクマワラビ	04700	③
<i>Polystichum longifrons</i> Kurata	アイヌカイノテ	05160	③
<i>Polystichum polyblepharum</i> (Roem.ex Kunze) Pr.	イノテ	05350	③
<i>Deparia okuboana</i> (Makino)	オヒメワラビ	07220	① ②
<i>Matteuccia orientalis</i> (Hook.) Trev.	イヌガソウ	07820	④
SPERMATOPHYTA 種子植物			
GYMNOSPERMAE 裸子植物			
<i>Abies firma</i> Sieb. et Zucc.	モミ	08730	③
<i>Pinus densiflora</i> Sieb. et Zucc.	アカマツ	09000	③
<i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight) K. Koch var. <i>nana</i> (Nakai) Rehder	ハイイヌガヤ	09370	③
<i>Torreya nucifera</i> (L.) Sieb. et Zucc. var. <i>radicans</i> Nakai	チャボガヤ	09420	③
ANGIOSPERMAE 被子植物			
DICOTYLEDONEAE 双子葉植物			
CHOLIPETALAE 離弁花類			
<i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb.) Schottky var. <i>sieboldii</i> (Makino) Nakai	スタジイ	11750	③
<i>Quercus acuta</i> Thunb.	アカガシ	11820	③
<i>Quercus salicina</i> Blume	ウラボシガシ	12060	③
<i>Persicaria perfoliata</i> (L.) H. Gross	イシミカ	14060	②
<i>Magnolia praecocissima</i> Koidz.	コブシ	16190	③ ④
<i>Magnolia praecocissima</i> Koidz. var. <i>borealis</i> Sarg.	キタコブシ	16200	③ ④
<i>Magnolia salicifolia</i> (Sieb. et Zucc.) Maxim.	タムシバ	16230	③ ④
<i>Lindera obtusiloba</i> Blume	ダンコウバイ	16600	① ③ ④
<i>Machilus thunbergii</i> Sieb. et Zucc.	タフシ	16720	③
<i>Anemone pseudo-altaica</i> Hara	キクザキイチゲ	17560	④
<i>Coptis japonica</i> (Thunb.) Makino	オウレン, キクハオウレン	18110	④
<i>Coptis japonica</i> (Thunb.) Makino var. <i>dissecta</i> (Yatabe) Nakai	セリハオウレン	18120	② ④
<i>Epimedium sempervirens</i> Nakai	トクワイカリソウ	19130	④
<i>Stauntonia hexaphylla</i> (Thunb.) Decaisne	ムベ	19230	① ②
<i>Chloranthus serratus</i> (Thunb.) Roem. et Schult.	フタリシズカ	19620	④
<i>Camellia japonica</i> L. var. <i>intermedia</i> Tuyama	ユキハツツバキ	20540	③ ④
<i>Eurya japonica</i> Thunb.	ヒサカキ	20630	③
<i>Stewartia pseudo-camellia</i> Maxim.	ナツツバキ	20740	④
<i>Drosera rotundifolia</i> L.	モウセンゴケ	21260	② ④
<i>Eutrema japonica</i> (Miq.) Koidz.	ワサビ	22230	④
<i>Hamamelis japonica</i> Sieb. et Zucc. var. <i>obtusata</i> Matsum.	マルハマンサク	22610	③
<i>Chrysosplenium fauriei</i> Franch.	ホクリクネコノメソウ	23450	③
<i>Deutzia gracilis</i> Sieb. et Zucc.	ヒメウツギ	23730	① ④
<i>Saxifraga nipponica</i> Makino	ハルユキソウ	24780	① ② ④
<i>Prunus incisa</i> Thunb.	キンキマサクラ	26010	③ ④

学名	和名	コード	選定理由
var. <i>kinkiensis</i> (Koidz.) Ohwi			
<i>Prunus verecunda</i> Koehne	カスミザクラ	26250	②
<i>Sorbus gracilis</i> (Sieb. et Zucc.) C. Koch	ナンキンナカマド	27690	② ④
<i>Spiraea japonica</i> L. fil.	シモツク	27940	④
<i>Sophora flavescens</i> Ait.	クララ	29760	②
<i>Euphorbia sieboldiana</i> Morr. et Decne.	ナツトウガイ	31180	②
<i>Orixa japonica</i> Thunb.	コクサキ	31680	②
<i>Zanthoxylum schinifolium</i> Sieb. et Zucc.	イヌザンショウ	31950	②
<i>Meliosma tenuis</i> Maxim.	ミヤマハハロ	33040	②
<i>Impatiens textori</i> Miq.	ツリフネソウ	33110	③
<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Sieb.	コマユミ	33780	④
f. <i>ciliato-dentatus</i> (Franch. et Savat.) Hiyama			
<i>Staphylea bumalda</i> (Thunb.) DC.	ミツバウツギ	34320	②
<i>Pachysandra terminalis</i> Sieb. et Zucc.	フッキソウ	34410	② ④
<i>Elaeagnus glabra</i> Thunb.	ツルグミ	35810	① ②
<i>Viola vaginata</i> Maxim.	スミレサイジ	36980	① ③ ④
<i>Actinostemma lobatum</i> (Maxim.) Maxim.	ゴキツル	37250	②
<i>Aucuba japonica</i> Thunb.	ヒメアオキ	38340	③
var. <i>borealis</i> Miyabe et Kudo			
<i>Helwingia japonica</i> (Thunb.) F. G. Diétr.	ハナイカダ	38450	④
<i>Anthriscus sylvestris</i> (L.) Hoffm.	シャク	39150	③

SYMPETALAE 合弁花類

<i>Pyrola japonica</i> Klenze	イチヤクソウ	40320	② ④
<i>Epigaea asiatica</i> Maxim.	イワナン	40590	① ④
<i>Gaultheria adeno-thrix</i> Maxim.	*アカモノ	40600	③
<i>Rhododendron nudipes</i> Nakai	ユキクニミツバツツジ	41730	③ ④
ssp. <i>niphophilum</i> Yamazaki			
<i>Gentiana scabra</i> Bunge	リンドウ	44510	② ④
var. <i>buergeri</i> Maxim.			
<i>Swertia japonica</i> (Schultes) Makino	センブリ	44840	④
<i>Tripterospermum japonicum</i> (Sieb. et Zucc.) Maxim.	ツルリンドウ	45000	
<i>Omphalodes krameri</i> Fr. et Sav.	エチゴルソウ	47520	④
var. <i>laevisperma</i> (Nakai) Ohwi			
<i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	ムラサキシキブ	47650	④
<i>Lamium amplexicaule</i> L.	ホトケノザ	48480	②
<i>Lamium barbatum</i> (Sied. et Zucc.) Franch. et Savat.	オドリコソウ	48490	③
<i>Leucosceptrum japonicum</i> (Miq.) Kitam. et Murata	テンニンソウ	48560	② ④
<i>Prunella vulgaris</i> L.	ウツボグサ	48860	② ③
ssp. <i>asiatica</i> (Nakai) Hara			
<i>Rabdosia shikokiana</i> (Makino) Hara	サンインヒキオコシ	48990	③
var. <i>occidentalis</i> (Murata) Hara			
<i>Salvia glabrescens</i> Makino	アキギリ	49060	③
<i>Lycium chinense</i> Miller	クコ	49520	②
<i>Solanum maximowiczii</i> Koidz.	マルハノホロシ	49720	① ②
<i>Melampyrum roseum</i> Maxim.	マモコ	50460	②
var. <i>japonicum</i> Fr. et Sav.			
<i>Phtheirospermum japonicum</i> (Thunb.) Kanitz	コシオガマ	50850	②
<i>Viburnum sieboldii</i> Miq.	マルハゴマキ	53420	① ②
var. <i>obovatifolium</i> (Yanagita) Sugimoto			
<i>Adenophora remotiflora</i> (Sieb. et Zucc.) Miq.	ソバナ	54040	④
<i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A. DC.	ツリガネニンジン	54130	④
var. <i>japonica</i> (Regel) Hara			
<i>Campanula punctata</i> Lam.	ホタルブクロ	54180	④
<i>Campanula punctata</i> Lam.	ヤマホタルブクロ	54190	④
var. <i>hondoensis</i> Kitamura			
<i>Peracarpa carnosa</i> (Wall.) Hook. fil. et Thomson	タニキキョウ	54330	②
var. <i>circaeoides</i> (Fr. Schm.) Makino			
<i>Cirsium kagamontanum</i> Nakai	カガノアザミ	56470	② ③
<i>Cirsium matsumurae</i> Nakai	ハクサンアザミ	56610	② ③
<i>Cirsium matsumurae</i> Nakai	ホッコクアザミ	56620	② ③

学名	和名	コード	選定理由
var. <i>dubium</i> Kitam.			
<i>Cirsium yezoense</i> (Maxim.) Makino	ウツサミ	57050	③
<i>Leibnitzia anandria</i> (L.) Turcz.	センボンヤリ	58540	④
<i>Miyamayomena savatieri</i> (Makino) Kitam.	ミヤマヨメ	58740	④

MONOCOTYLEDONEAE 単子葉植物

<i>Aletris luteoviridis</i> (Maxim.) Franch.	ノギラン	61300	②
<i>Cardiocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino	ウバユリ		②
<i>Chionographis japonica</i> Maxim.	シライソウ	61580	② ④
<i>Disporum smilacinum</i> A. Gray	チヨユリ	61700	③
<i>Heloniopsis orientalis</i> (Thunb.) C. Tanaka	ショウジ ヨウハ カマ	61870	② ④
<i>Hosta sieboldiana</i> (Lodd.) Engler	オオハキホウシ	62310	②
<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J. Ingram	コハキホウシ	62350	②
f. <i>lancifolia</i> (Miq.) Hara			
<i>Liriope minor</i> (Maxim.) Makino	ヒメアブラン	62730	②
<i>Polygonatum macranthum</i> (Maxim.) Koidz.	オオナルコリ	63050	②
<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce	アマトコロ	63080	②
var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi			
<i>Scilla scilloides</i> (Lindl.) Druce	ツルホ	63140	②
<i>Smilax china</i> L.	サルトリイバラ	63270	④
<i>Smilax sieboldii</i> Miq.	ヤマカシュウ	63400	① ②
<i>Trillium smallii</i> Maxim.	エンレイソウ	63830	② ④
<i>Pollia japonica</i> Thunb.	ヤブミョウガ	65160	② ④
<i>Acorus calamus</i> L.	ショウブ	72790	②
<i>Acorus gramineus</i> Soland.	セキショウ	72800	②
<i>Arisaema amurense</i> Maxim.	ヒロハテンナンショウ	72870	②
ssp. <i>robustum</i> (Engler) Ohashi et J. Murata			
<i>Arisaema thunbergii</i> Blume	ウラシマソウ	73240	② ④
ssp. <i>urashima</i> Hara			
<i>Symplocarpus fotidus</i> Nutt.	ザゼンソウ	73350	②
var. <i>latissimus</i> (Makino) Hara			
<i>Typha angustifolia</i> L.	ヒメガマ	73690	②
<i>Typha latifolia</i> L.	ガマ	73700	② ④
<i>Carex podogyne</i> Franch. et Savat.	タヌキラン	75610	②
<i>Scirpus triangulatus</i> Roxb.	カンガレイ	77770	②
<i>Cremastra appendiculata</i> (D. Don) Makino	サイハイラン	78710	② ④
<i>Cymbidium goeringii</i> (Reichb. fil.) Reichb. fil.	シュンラン	78760	② ④
<i>Platanthera minor</i> (Miq.) Reichb. fil.	オオハノトンボソウ	80650	②

* アサノ 今回の調査で採集はされていないが、重要な種類

選定理由

- ① 植物地理学上注目される。
- ② 個体数が少ないか、分布域が狭く、絶滅のおそれがある。
- ③ 金沢市の丘陵、旧市街地の自然景観の構成種として重要である。
- ④ 花材や山野草趣味等の対象として採取されやすい。

金沢市植物調査報告書（丘陵および市街地）

平成14年3月31日発行

執筆編集	金沢みどりの調査会 （会長 古池 博）
発行	金沢市環境部環境保全課 〒920-0024 金沢市西念3丁目4-25 TEL(076)234-5123
